

クロロタロニル (案)

今般の残留基準の検討については、食品中の農薬等のポジティブリスト制度導入時に新たに設定された基準値（いわゆる暫定基準）の見直し等について食品安全委員会において厚生労働大臣からの依頼に伴う食品健康影響評価がなされたこと及び農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会（以下「本部会」という。）において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

なお、当該基準値設定依頼に当たっては、毒性や代謝物に関する新たな知見の提出がなく、既存の食品健康影響評価の結果に影響はないと考えられることから、本部会での審議後に内閣総理大臣から食品安全委員会に対して食品健康影響評価の要請を行うこととしている。

1. 概要

(1) 品目名：クロロタロニル [Chlorothalonil (ISO)]

(2) 分類：農薬

(3) 用途：殺菌剤

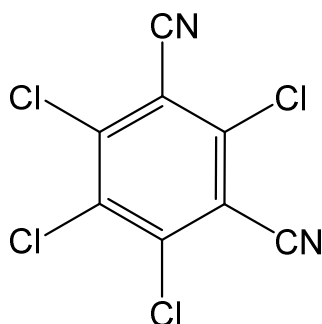
クロロニトリル（フタロニトリル）類の殺菌剤である。多作用点接触活性を有する多作用点阻害剤であると考えられている。

(4) 化学名及びCAS番号

2, 4, 5, 6-Tetrachloroisophthalonitrile (IUPAC)

1, 3-Benzenedicarbonitrile, 2, 4, 5, 6-tetrachloro- (CAS : No. 1897-45-6)

(5) 構造式及び物性



分子式	$C_8Cl_4N_2$
分子量	265.90
水溶解度	8.1×10^{-4} g/L (25°C)
分配係数	$\log_{10}Pow = 2.94$ (25°C)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の国内における適用の範囲及び使用方法は、別紙1のとおり。

3. 代謝試験

(1) 植物代謝試験

植物代謝試験が、レタス、にんじん、トマト、セルリー、いんげんまめ及びりんごで実施されており、可食部で親化合物の残留が認められ、10%TRR^(注)以上認められた代謝物は認められなかった。また後作作物での代謝試験が春小麦、にんじん、レタス及び豆について実施されており、にんじん及び豆の可食部で親化合物の残留が認められ、10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物I（にんじん根部及び豆のさや部分）及び代謝物III（春小麦穀粒、にんじん根部及びレタス葉部）であった。

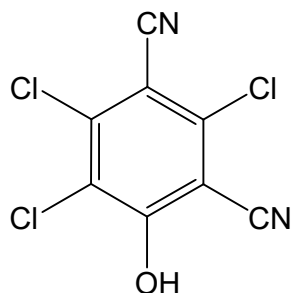
注) %TRR：総放射性残留物（TRR：Total Radioactive Residues）濃度に対する比率（%）

(2) 家畜代謝試験

[¹⁴C]クロロタロニルを用いた家畜代謝試験が、泌乳山羊及び産卵鶏で実施されており、すべての組織、乳及び卵において親化合物の残留が認められていない。可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物I（泌乳山羊の乳）であった。また[¹⁴C]代謝物Iを用いた家畜代謝試験が、泌乳山羊及び産卵鶏で実施され、可食部で10%TRR以上認められた残留物は、代謝物I（泌乳山羊のすべての組織及び乳並びに産卵鶏の卵黄）のみであった。産卵鶏のその他の組織については、代謝物の分析は実施されなかった。

【代謝物略称一覧】

略称	JMPR評価書の略称	化学名
I	SDS-3701	2, 5, 6-トリクロロ-4-ヒドロキシイソフタロニトリル
III	SDS-46851 R611965	3-カルボキシ-2, 5, 6-トリクロロベンズアミド



代謝物I

注) 残留試験の分析対象、残留の規制対象及び暴露評価対象となっている代謝物について構造式を明記した。

4. 作物残留試験

(1) 分析の概要

【国内】

① 分析対象物質

- ・クロロタロニル

② 分析法の概要

i) クロロタロニル

試料を摩砕して5%又は10%リン酸溶液を加えて膨潤させた後、アセトンを加えて抽出する。または摩砕してアセトン・50%リン酸溶液(20~50:1、必要に応じて10%(w/v)硫酸ナトリウムを加える)を加えて抽出する。若しくは試料に等重量の10%リン酸溶液を加えてから破碎し、アセトンを加えて抽出する。アセトンを留去後、*n*-ヘキサンに溶解し、5%硫酸ナトリウム溶液若しくは5%又は10%塩化ナトリウム溶液で洗浄する。必要に応じて*n*-ヘキサンからアセトニトリルに転溶する。シリカゲルカラム、フロリジルカラム又はフロリジルカラム及びシリカゲルカラムを用いて精製した後、電子捕獲型検出器付きガスクロマトグラフ(GC-ECD)、高感度窒素・リン検出器付きガスクロマトグラフ(GC-NPD)又はアルカリ熱イオン化検出器付きガスクロマトグラフ(GC-FTD)で定量する。

または、試料に重量比1~10%リン酸溶液を加えて破碎する。アセトンを加えて抽出し、多孔性ケイソウ土カラム、フロリジルカラム、多孔性ケイソウ土カラム及びフロリジルカラム、多孔性ケイソウ土/シリカゲル連結カラム、オクタデシルシリル化シリカゲル(C₁₈)カラム及びフロリジルカラム、必要に応じてグラファイトカーボンカラムを用いて精製し、GC-ECD、GC-NPD又はGC-FTDで定量する。

または、試料に1/2重量の10%リン酸溶液を加えて破碎し、アセトンを加えて抽出する。多孔性ケイソウ土カラム、グラファイトカーボン/アミノプロピルシリル化シリカゲル(NH₂)積層カラム及びフロリジルカラム又はグラファイトカーボン/NH₂積層カラムを用いて精製し、GC-ECD又はガスクロマトグラフ・質量分析計(GC-MS)で定量する。

または試料を重量の4倍液量の5%リン酸溶液で膨潤し、アセトンで抽出する。必要に応じてヘキサン処理した後、抽出液に等量の凝固液(240 g塩化アンモニウム、40 mLリン酸を水360 mLに溶解した貯蔵液を用時10倍希釈)を加えて凝固物を除き、塩化ナトリウム粉末を加えて溶解した後に*n*-ヘキサンに転溶する。フロリジルカラム又はシリカゲルカラムを用いて精製し、GC-NPD又はGC-ECDで定量する。

あるいは試料に沸騰水を入れて抽出する。ろ液にアセトン及び飽和酢酸鉛溶液を加えて凝固物を除き、塩化ナトリウム粉末を加えて溶解した後に*n*-ヘキサンを加えて転溶する。シリカゲルカラムで精製し、GC-NPDで定量する。

定量限界：0.0003~0.1 mg/kg

(2) 作物残留試験結果

国内作物残留試験については、アスパラガス、トマト、ミニトマト、ピーマン、なす、きゅうり、かぼちゃ、すいか、メロン、まくわうり、もも及びおうとうの試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙2に示す。

5. 畜産物における推定残留濃度

本剤については、飼料として給与した作物を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、飼料中の残留濃度及び動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留濃度を算出した。

(1) 分析の概要

① 分析対象物質
・代謝物 I

② 分析法の概要

i) 代謝物 I

試料から、筋肉、肝臓及び腎臓についてはアセトン・5 mol/L硫酸 (19 : 1) 混液で、脂肪についてはアセトニトリル・5 mol/L硫酸 (19 : 1) 混液で、乳についてはアセトニトリルで、卵についてはアセトニトリル・水 (3 : 1) 混液で抽出後、C₁₈カラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計 (LC-MS/MS) で定量する。

定量限界：代謝物 I 0.01 mg/kg

(2) 家畜残留試験 (動物飼養試験)

① 乳牛を用いた残留試験

乳牛 (ホルスタイン種、体重500~550 kg、4頭/時点) に対して、飼料中濃度としてクロロタロニル1.5 ppm及び代謝物 I 0.1 ppm、クロロタロニル3 ppm及び代謝物 I 0.2 ppm、クロロタロニル9 ppm及び代謝物 I 0.6 ppm、クロロタロニル30 ppm及び代謝物 I 2.0 ppmに相当する量を含むカプセルを28日間にわたり強制経口投与し、筋肉、脂肪、肝臓、腎臓及び乳に含まれる代謝物Iの濃度をLC-MS/MSで測定した。結果は表1を参照。

表1. 乳牛の試料中の代謝物Iの残留濃度 (mg/kg)

		クロロタロニル 1.5 ppm/ 代謝物I 0.1 ppm 投与群	クロロタロニル 3 ppm/ 代謝物I 0.2 ppm 投与群	クロロタロニル 9 ppm/ 代謝物I 0.6 ppm 投与群	クロロタロニル 30 ppm/ 代謝物I 2.0 ppm 投与群
筋肉	背最長 筋肉	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.020 (最大) 0.013 (平均)	0.070 (最大) 0.050 (平均)	0.240 (最大) 0.150 (平均)
	大腿部 筋肉	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.020 (最大) 0.012 (平均)	0.090 (最大) 0.055 (平均)	0.150 (最大) 0.138 (平均)
脂肪	大網 脂肪	0.030 (最大) 0.025 (平均)	0.070 (最大) 0.040 (平均)	0.060 (最大) 0.035 (平均)	0.360 (最大) 0.210 (平均)
	腎周囲 脂肪	0.020 (最大) 0.015 (平均)	0.050 (最大) 0.038 (平均)	0.080 (最大) 0.060 (平均)	0.850 (最大) 0.665 (平均)
肝臓		0.030 (最大) 0.023 (平均)	0.040 (最大) 0.025 (平均)	0.180 (最大) 0.155 (平均)	0.550 (最大) 0.445 (平均)
腎臓		0.140 (最大) 0.135 (平均)	0.280 (最大) 0.202 (平均)	0.550 (最大) 0.488 (平均)	1.200 (最大) 0.950 (平均)
乳 ^{注)}		0.030 (平均)	0.056 (平均)	0.199 (平均)	0.479 (平均)

定量限界：0.01 mg/kg

注) 投与期間中に採取した乳中の濃度を1頭ずつ別々に分析して平均し、その平均残留濃度がプラトーに達する投与開始後11日目以降の残留濃度の平均値を求めた。

② 産卵鶏を用いた代謝試験

産卵鶏を用いた残留試験は実施されていないが、放射性同位体標識化合物を用いた代謝試験が実施されている。

産卵鶏に対し、¹⁴C-クロロタロニルを飼料中濃度として2、6及び20 ppmに相当する量を21日間にわたりカプセルにて投与し、最終投与6時間後に総放射性残留物の濃度を液体シンチレーション計測装置 (LSC) で測定した。その結果、卵黄からは20 ppm投与群で0.035~0.047 mg eq/kg、肝臓からは6 ppm投与群で0.098 mg eq/kg、20 ppm投与群で0.05 mg eq/kgの総放射性残留物が検出された。それ以外の組織では放射性残留物は定量限界未満量であった (定量限界：0.01 mg eq/kg)。

また¹⁴C-代謝物 I を飼料中濃度として0.1、0.3及び1.0 ppmに相当する量を21日間にわたりカプセルにて投与し、最終投与6時間後に総放射性残留物の濃度をLSCで測定した。その結果、0.1 ppm投与群では、卵白、筋肉、脂肪、皮膚からは放射性残留物は検出されず、肝臓からは0.056 mg/kg eq、卵黄からは0.044 mg/kg eqの総放射性残留物が検出された。

(3) 飼料中の残留農薬濃度

飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令 (昭和51年農林省令第35号) に定める飼料一般の成分規格や飼料となる作物の残留試験成績等を基に、飼料の最大給与割合等を考慮して最大飼料由来負荷^{注1)} が算出されている。最大飼料由来負荷は、乳牛及び肉牛において0.707 ppm、産卵鶏において0.414 ppm、肉用鶏において0.235 ppm と示され

ている。また、平均的飼料由来負荷^{注2)}は、乳牛及び肉牛において0.553 ppmと示されている。

JMPRは、クロロタロニルに対する最大飼料由来負荷を乳牛において2.0 ppm、肉牛において2.06 ppm、産卵鶏において0.38 ppm、肉用鶏において0.42 ppmと示している。また、クロロタロニルに対する平均的飼料由来負荷は、乳牛において2.0 ppm、肉牛において2.06 ppm、産卵鶏において0.38 ppm、肉用鶏において0.42 ppmと示している。代謝物Iに対する最大飼料由来負荷は、乳牛において0.30 ppm、肉牛において0.31 ppm、産卵鶏において0.09 ppm、肉用鶏において0.069 ppmと示している。また、代謝物Iに対する平均的飼料由来負荷は乳牛において0.28 ppm、肉牛において0.27 ppm、産卵鶏において0.07 ppm、肉用鶏において0.05 ppmと示している。

注1) 最大飼料由来負荷 (Maximum dietary burden) : 飼料の原料に農薬が最大まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

注2) 平均的飼料由来負荷 (Mean dietary burden) : 飼料の原料に農薬が平均的に残留していると仮定した場合に (作物残留試験から得られた残留濃度の中央値を試算に用いる)、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる平均濃度。飼料中濃度として表示される。

(4) 推定残留濃度

牛について、最大及び平均的飼料由来負荷と家畜残留試験結果から、畜産物中の代謝物Iの推定残留濃度を算出した。結果は表2を参照。

表2. 畜産物中の代謝物Iの推定残留濃度：牛 (mg/ kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
牛	0.013 (0.01)	0.05 (0.025)	0.033 (0.03)	0.18 (0.16)	(0.05)

上段：最大残留濃度

下段括弧内：平均的な残留濃度

鶏について、最大及び平均的飼料由来負荷と家畜残留試験結果から、畜産物中の代謝物Iの推定残留濃度を算出した。結果は表3を参照。

表3. 畜産物中の代謝物Iの推定残留濃度：鶏 (mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	卵
鶏	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	0.050 (0.039)	(0.031)

上段：最大残留濃度

下段括弧内：平均的な残留濃度

6. 許容一日摂取量 (ADI) 及び急性参照用量 (ARFD) の評価

先の審議の際に食品安全基本法 (平成15年法律第48号) 第24条第1項第1号及び第2項の

規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたクロロタロニルに係る食品健康影響評価において、代謝物Iはクロロタロニルより最小の無毒性量が低く、毒性プロファイルが異なることから、クロロタロニルに加え、代謝物Iに関して、以下のとおり評価されている。

(1) ADI

① クロロタロニル

ADI : 0.018 mg/kg体重/日

(ADI設定根拠資料) 発がん性試験

(動物種) マウス

(期間) 2年間

(投与方法) 混餌

(無毒性量) 1.86 mg/kg体重/日

(安全係数) 100

前胃乳頭腫及び扁平上皮癌並びに腎尿細管腺腫及び腺癌の発生頻度の増加がそれぞれ認められたが、腫瘍の発生機序はいずれも遺伝毒性によるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。

② 代謝物I (2,5,6-トリクロロ-4-ヒドロキシイソフタロニトリル)

ADI : 0.0083 mg/kg体重/日

(ADI設定根拠資料) 慢性毒性試験

(動物種) イヌ

(期間) 1年間

(投与方法) 混餌

(無毒性量) 0.83 mg/kg体重/日

(安全係数) 100

(2) ARfD

① クロロタロニル

ARfD : 0.6 mg/kg体重

(ARfD 設定根拠資料) 単回経口投与毒性試験及び腎臓の病理組織学的検査の総合評価

(動物種) ラット

(期間) 1、2、3又は4日間

(投与方法) 強制経口

(無毒性量) 60 mg/kg体重

(安全係数) 100

② 代謝物 I (2,5,6-トリクロロ-4-ヒドロキシイソフタロニトリル)

ARfD : 0.025 mg/kg体重

(ARfD 設定根拠資料) 発生毒性試験

(動物種) ウサギ

(期間) 妊娠 6~18 日

(投与方法) 強制経口

(無毒性量) 2.5 mg/kg体重

(安全係数) 100

7. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価が行われ、2009年にADI及びARfDが設定されている。国際基準は大豆、ばれいしょ等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてばれいしょ、カリフラワー等に、カナダにおいてキャベツ、たまねぎ等に、EUにおいて小麦、リンゴ等に、豪州においてだいこん、ぶどう等に、ニュージーランドにおいてレタス、ネクタリン等に基準値が設定されている。

8. 残留規制

(1) 残留の規制対象

農産物及びはちみつにあっては、クロロタロニルとし、畜産物にあっては、代謝物Iとする。

植物代謝試験において、主な残留物は親化合物であり、作物残留試験においても親化合物の残留が認められ、分析の指標として親化合物のみで十分であると考えられることから、農産物では残留の規制対象には代謝物を含めず、クロロタロニルのみとする。

泌乳山羊及び産卵鶏で放射性同位体標識したクロロタロニルを投与した家畜代謝試験では、泌乳山羊の筋肉と脂肪への移行はごくわずかで、肝臓及び腎臓ではクロロタロニルは検出されず、代謝物Iの残留が認められた。また産卵鶏では肝臓及び卵黄においてのみ移行が認められた。また放射性同位体標識した代謝物Iを投与した家畜代謝試験では代謝物Iが泌乳山羊のすべての可食部組織及び乳並びに産卵鶏の卵黄において主要残留物として認められた。一方で乳牛における家畜残留試験において、最大飼料由来負荷相当で筋肉、及び乳で代謝物Iの残留が認められ、分析の指標として代謝物Iのみで十分であると考えられることから、畜産物では残留の規制対象を代謝物Iとする。

(2) 基準値案

別紙3のとおりである。

9. 暴露評価

(1) 暴露評価対象

農産物にあつては、クロロタロニル及び代謝物Iとし、畜産物にあつては、代謝物Iとする。

JMPR並びに食品安全委員会における毒性評価において、クロロタロニルと代謝物Iに対して個別にADI及びARfDが設定されており、植物代謝試験において代謝物Iは可食部において10%TRRを超えていないものの、JMPRにおいて報告されている農作物残留試験成績において、いくつかの作物で代謝物Iの残留が認められていることから、クロロタロニル及び代謝物Iについて、各々の化合物を暴露評価対象とする。

家畜代謝試験において、放射性同位体標識したクロロタロニルの投与でクロロタロニルは認められず、代謝物Iが認められること、EU、豪州及びニュージーランドにおいて暴露評価対象は代謝物Iのみとされ、親化合物は対象にされていないこと、またJMPRにおける評価においても同様であることから、畜産物における暴露評価対象は代謝物Iのみとする。

なお、先の審議の際に食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物中の暴露評価対象物質をクロロタロニル（親化合物のみ）、畜産物中ではクロロタロニル及び代謝物Iとしている。

(2) 暴露評価結果

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価はクロロタロニルについては別紙4-1、代謝物Iについては別紙4-2参照。

	EDI/ADI (%) ^{注)}	EDI/ADI (%) ^{注)}
	クロロタロニル	代謝物 I
国民全体 (1歳以上)	39.5	5.6
幼小児 (1~6歳)	78.5	17.9
妊婦	36.5	6.4
高齢者 (65歳以上)	46.4	5.3

注) 各食品の平均摂取量は、平成17~19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算式：作物残留試験成績の中央値 (STMR) 等×各食品の平均摂取量

② 短期 (1日経口) 暴露評価

各食品の短期推定摂取量 (ESTI) を算出したところ、国民全体 (1歳以上) 及び幼小児 (1~6歳) のそれぞれにおける摂取量はARfDを超えていない^{注)}。詳細な暴露評価はクロロタロニルについては別紙5-1及び5-2、代謝物Iについては別紙5-3及び5-

4参照。

注) 基準値案、作物残留試験における最高残留濃度 (HR) 又は中央値 (STMR) を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づき ESTIを算出した。

- (3) 本剤については、平成17年11月29日付け厚生労働省告示第499号により、食品、添加物等の規格基準 (昭和34年厚生省告示第370号) 第1 食品の部A 食品一般の成分規格の項7に食品に残留する量の限度 (暫定基準) が定められているが、今般、残留基準の見直しを行うことに伴い、暫定基準は削除される。

クロタロニルの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロタロニル を含む農薬の 総使用回数
稲(箱育苗)	82.5% WP	土壌灌注	4000倍	は種時～緑化期 ただし、移植15日前まで	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり1 L	2回以内	2回以内
			2000倍		育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり500 mL		
	53.0% SC	土壌灌注	1000倍	は種時	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり500 mL	1回	
	4.0% DP	育苗箱土壌に均一に混和する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり15～20 g	は種前	—	1回	
	40.0% SC	土壌灌注	1000～2000倍	は種時から緑化期 ただし、は種14日後まで	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり1 L	2回以内	
			500～1000倍		育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり500 mL		
	9.0% DP 配合剤1	覆土に均一に混和する。	育苗箱(30×60×3 cm、覆土約1 L)覆土1 L当たり5 g	覆土前	—	1回	
50.0% WP 配合剤2	灌注	800～1200倍	は種時から緑化期 ただし、は種14日後まで	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり1 L	2回以内		
		400～600倍		育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり0.5 L			
		400倍	は種時	—	1回		
小麦	53.0% SC	全面散布後土壌混和	20～30倍	は種前	80～100 L/10 a	1回	1回
麦類(秋播栽培)	10.0% DP	作条施用土壌混和	10～20 kg/10 a	は種前	—	1回	1回
		全面施用土壌混和	20～30 kg/10 a				
だいず	82.5% WP	散布	2000倍	収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
		無人航空機による散布	16倍		1.6 L/10 a		
	60.0% WP 配合剤3	散布	1000倍	収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
50.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内		
				100～300 mL/m ²			
あずき	60.0% WP 配合剤3	散布	800倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
らっかせい	82.5% WP	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	4回以内	4回以内
	40.0% SC	散布	500倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	4回以内	

クロタロニルの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロタロニル を含む農薬の 総使用回数
ばれいしょ	82.5% WP	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内
	53.0% SC	散布	750～1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	
			125倍		25 L/10 a		
		無人航空機による散布	16倍		3.2 L/10 a		
			8倍		1.6 L/10 a		
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	
			500～1000倍		3.2 L/10 a		
		無人航空機による散布	16倍		1.6 L/10 a		
			8倍				
	32.0% SC 配合剤5	散布	500～1000倍	収穫7日前まで	100～400 L/10 a	3回以内	
	60.0% WP 配合剤3	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	4回以内	
			800～1000倍				
			800～1500倍				
250倍			25 L/10 a				
50.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 mL/m ²	5回以内		
		750～1000倍		100～300 L/10 a			
				250倍		100～300 mL/m ²	
		無人航空機による散布		32倍		25 L/10 a	
	16倍			3.2 L/10 a			
	50.0% WP 配合剤6	散布		1000倍		収穫7日前まで	100～300 L/10 a
やまのいも	82.5% WP	散布	2000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	6回以内	6回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	6回以内	
やまのいも(むかご)	82.5% WP	散布	2000倍	収穫45日前まで	100～300 L/10 a	6回以内	6回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫45日前まで	100～300 L/10 a	6回以内	
てんさい	53.0% SC	散布	750～1000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
			750倍		25 L/10 a		
		200倍	3.2 L/10 a				
		無人航空機による散布	16倍		1.6 L/10 a		
	8倍						
40.0% SC	散布	1000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	3回以内		
40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	3回以内		
だいこん	82.5% WP	散布	2000倍	収穫45日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫45日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫45日前まで	100～400 L/10 a	3回以内	
かぶ	10.0% DP	作条施用土壌混和	20～40 kg/10 a	は種前	—	1回	1回

クロタロニルの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロタロニル を含む農薬の 総使用回数
はくさい	82.5% WP	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(は種又は定植前の土壌混和は1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内)
	10.0% DP	作条施用土壌混和	30 kg/10 a	は種又は定植前	—	1回	
			30～40 kg/10 a				
		植穴処理土壌混和	10 g/植穴1穴				
		全面施用土壌混和	30～40 kg/10 a				
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	32.0% SC 配合剤5	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～400 L/10 a	2回以内	
			800～1000倍				
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
		無人航空機による散布	16倍		1.6 L/10 a		
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～400 L/10 a	2回以内	
	40.0% SC 配合剤9	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
60.0% WP 配合剤3	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内		
50.0% WP 配合剤2	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内		
50.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内		
				100～300 mL/m ²			
50.0% WP 配合剤6	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内		
非結球はくさい	40.0% SC	散布	1000倍	収穫28日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
キャベツ	82.5% WP	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(は種又は定植前の土壌混和は1回以内、散布、無人航空機散布及びエアゾル剤の噴射は合計2回以内)
	10.0% DP	作条及び全面施用土壌混和	30～40 kg/10 a	は種又は定植前	—	1回	
			植穴処理土壌混和				
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	32.0% SC 配合剤5	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～400 L/10 a	2回以内	
			800～1000倍				
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
		無人航空機による散布	16倍		1.6 L/10 a		
	50.0% WP 配合剤2	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
50.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内		
				100～300 mL/m ²			
50.0% WP 配合剤6	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内		
0.030% AE 配合剤10	噴霧液が均一に付着するように噴射する。	—	収穫3日前まで	—	2回以内		
みずな	40.0% SC	土壌灌注	1000倍	は種時	3 L/m ²	1回	1回
カリフラワー	82.5% WP	散布	2000倍	出蕾前 ただし、収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	出蕾前 ただし、収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	

クロタロニルの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロタロニル を含む農薬の 総使用回数	
ブロッコリー	82.5% WP	散布	2000倍	出蕾前 ただし、収穫 21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(土壌灌 注は1回以内、散 布及び無人航空 機散布は合計2回 以内)	
	40.0% SC	散布	1000倍	出蕾前 ただし、収穫 21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内		
		土壌灌注		定植時	3 L/m ²	1回		
	32.0% SC 配合剤5	散布	1000倍	出蕾前 ただし、収穫 21日前まで	100～400 L/10 a	2回以内		
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	出蕾前 ただし、収穫 21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内		
		無人航空機による散 布	16倍		1.6 L/10 a			
	50.0% WP 配合剤2	散布	1000倍	出蕾前 ただし、収穫 21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内		
50.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	出蕾前 ただし、収穫 21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内			
				100～300 mL/m ²				
なばな	40.0% SC	散布	1000倍	出蕾前 ただし、収穫 21日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内	
なばな類	82.5% WP	散布	2000倍	出蕾前 ただし、収穫 21日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内	
なばな類(なば なを除く)	40.0% SC	散布	1000倍	収穫60日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内	
ひろしまな	32.0% SC 配合剤5	散布	1000倍	収穫28日前まで	100～400 L/10 a	2回以内	2回以内	
ごぼう	82.5% WP	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内	
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	5回以内		
リーフレタス	32.0% SC 配合剤5	散布	800倍	収穫21日前まで	100～400 L/10 a	2回以内	2回以内	
レタス	82.5% WP	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	5回以内(土壌灌 注は2回以内、散 布及び無人航空 機散布は合計3回 以内)	
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内		
		土壌灌注		収穫42日前まで	1.5～3 L/m ²	2回以内		
	32.0% SC 配合剤5	散布	800倍	収穫14日前まで	100～400 L/10 a	3回以内		
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内		
		無人航空機による散 布	16倍		1.6 L/10 a			
	40.0% SC 配合剤9	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内		
50.0% WP 配合剤2	散布	1500倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内			
50.0% WP 配合剤6	散布	1500倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内			
非結球レタス	82.5% WP	散布	2000倍	収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内	
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内		
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内		
無人航空機による散 布		16倍	1.6 L/10 a					
ふき	40.0% SC	散布	1000倍	収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内	
もりあざみ	40.0% SC	散布	1000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内	
食用ぎく	82.5% WP	散布	2000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	4回以内	4回以内	
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	4回以内		

クロタロニルの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロタロニル を含む農薬の 総使用回数
たまねぎ	82.5% WP	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	6回以内	6回以内
	53.0% SC	散布	750～1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	6回以内	
			750倍		3.2 L/10 a		
		無人航空機による散布	16倍		1.6 L/10 a		
			8倍				
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	6回以内	
	60.0% WP 配合剤3	散布	1200倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	50.0% WP 配合剤2	散布	800倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	6回以内	
	50.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	100～300 mL/m ²						
	50.0% WP 配合剤6	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	4回以内	
		無人航空機による散布	16倍		1.6 L/10 a		
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～400 L/10 a	4回以内	
40.0% SC 配合剤9	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	4回以内		
32.0% SC 配合剤5	散布	800～1000倍	収穫7日前まで	100～400 L/10 a	3回以内		
		800倍					
ねぎ	82.5% WP	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内(土壌灌 注は1回以内、散 布及び無人航空 機散布は合計3回 以内)
		土壌灌注	1000倍	出芽揃い後(出芽3日後 から10日後まで)	セル成型育苗トレ イ1箱又はペーパー ポット1冊(30×60 cm、使用土壌約5 L)当たり0.5 L	1回	
	40.0% SC	土壌灌注	500倍	出芽揃い後(出芽3日後 から10日後まで)	0.5 L/m ²	1回	
					セル成型育苗トレ イ1箱又はペーパー ポット1冊(30×60 cm、使用土壌約5 L)当たり0.5 L		
	50.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
					100～300 mL/m ²		
		無人航空機による散布	32倍		3.2 L/10 a		
			16倍		1.6 L/10 a		
	50.0% WP 配合剤6	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
		無人航空機による散布	16倍		1.6 L/10 a		
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～400 L/10 a	3回以内	
40.0% SC 配合剤9	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内		
32.0% SC 配合剤5	散布	800～1000倍	収穫14日前まで	100～400 L/10 a	3回以内		

クロロタロニルの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロロタロニル を含む農薬の 総使用回数
にんにく	82.5% WP	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	6回以内	6回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	6回以内	
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～400 L/10 a	3回以内	
アスパラガス	82.5% WP	散布	2000倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	5回以内	5回以内
	53.0% SC	散布	1500倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	5回以内	
		無人航空機による散布	16倍		3.2 L/10 a		
	40.0% SC	常温煙霧	40倍	収穫前日まで	10 L/10 a	5回以内	
		散布	1000倍		100～400 L/10 a		
	50.0% WP 配合剤2	散布	1000倍	収穫終了後	100～500 L/10 a	4回以内	4回以内
	50.0% WP 配合剤4	散布	1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
					100～300 mL/m ²		
	32.0% SC 配合剤5	散布	1000倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	4回以内	
無人航空機による散布		16倍	1.6 L/10 a				
32.0% SC 配合剤5	散布	1000倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	3回以内		
わけぎ	82.5% WP	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(土壌灌 注は1回以内、散 布は2回以内)
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
		土壌灌注	500倍	出芽揃い後(出芽3日後 から10日後まで)	0.5 L/m ²	1回	
32.0% SC 配合剤5	散布	800～1000倍	収穫14日前まで	100～400 L/10 a	2回以内		
らっきょう	82.5% WP	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	50.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
					100～300 mL/m ²		
32.0% SC 配合剤5	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～400 L/10 a	3回以内		
食用ゆり	82.5% WP	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	6回以内	6回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	6回以内	
にんじん	82.5% WP	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内(種子へ の吹き付け処理 は1回以内)
		無人航空機による散布	16倍		1.6 L/10 a		
	53.0% SC	散布	750～1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	
			750倍				
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	
		無人航空機による散布	16倍		3.2 L/10 a		
			8倍		1.6 L/10 a		
40.0% SC 配合剤8	吹き付け処理(種子 消毒機使用)	12倍	は種前	乾燥種子1 kg当 り60 mL	1回		
40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫21日前まで	100～400 L/10 a	2回以内		

クロタロニルの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロタロニル を含む農薬の 総使用回数
セルリー	82.5% WP	散布	2000倍	収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
みつば	40.0% SC	散布	1000倍	根株養成期 ただし、 収穫75日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
あしたば	82.5% WP	散布	2000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
トマト	82.5% WP	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	10回以内	12回以内(土壌灌 注は2回以内、散 布、常温煙霧、 くん煙及びエア ゾル剤の噴射は 合計10回以内)
	53.0% SC	散布	1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	10回以内	
	40.0% SC	常温煙霧	40倍	収穫前日まで	10 L/10 a	10回以内	
		散布	1000倍		100～300 L/10 a		
	土壌灌注			は種時又は活着後 た だし、定植14日後まで	3 L/m ²	2回以内	
	46.0% FU	くん煙(通常10～15 時間)	くん煙室容積100 m ³ (床面積50 m ² ,高 さ2 m)当たり20 g	収穫前日まで	—	4回以内	6回以内(土壌灌 注は2回以内、散 布、常温煙霧、 くん煙及びエア ゾル剤の噴射は 合計4回以内)
	4.0% DP	散布	3 kg/10 a	収穫前日まで	—	4回以内	
	60.0% WP 配合剤3	散布	1200～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
			1200倍				
	50.0% WP 配合剤4	散布	1000～1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
					100～300 mL/m ²		
			1000倍		100～300 L/10 a		
					100～300 mL/m ²		
	50.0% WP 配合剤6	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	4回以内	
40.0% SC 配合剤9	散布	1000倍	収穫前日まで	150～300 L/10 a	4回以内		
40.0% SC 配合剤11	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内		
32.0% SC 配合剤5	散布	800～1000倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	4回以内		
		800倍					
0.030% AE 配合剤10	噴霧液が均一に付着 するように噴射す る。	—	収穫前日まで	—	3回以内		
ミニトマト	82.5% WP	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	10回以内	12回以内(土壌灌 注は2回以内、散 布及び常温煙霧 は合計10回以内)
	53.0% SC	散布	1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	10回以内	
	40.0% SC	常温煙霧	40倍	収穫前日まで	10 L/10 a	10回以内	
		散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	10回以内	
	土壌灌注	1000倍	は種時又は活着後 た だし、定植14日後まで	3 L/m ²	2回以内		
	60.0% WP 配合剤3	散布	1200～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
1200倍							

クロロタロニルの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロロタロニル を含む農薬の 総使用回数
ミニトマト	50.0% WP 配合剤4	散布	1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
					100～300 mL/m ²		
	50.0% WP 配合剤6	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	2回以内	
	40.0% SC 配合剤11	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
32.0% SC 配合剤5	散布	800～1000倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	2回以内		
		800倍					
ピーマン	82.5% WP	常温煙霧	100倍	収穫前日まで	10 L/10 a	3回以内	3回以内
		散布	2000倍		100～300 L/10 a	4回以内	
	40.0% SC	常温煙霧	50倍	収穫前日まで	10 L/10 a	4回以内	4回以内
		散布	1000倍		100～300 L/10 a		
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤9	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤11	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
なす	82.5% WP	常温煙霧	100倍	収穫前日まで	10 L/10 a	4回以内	4回以内
		散布	2000倍		100～300 L/10 a		
	46.0% FU	くん煙(通常10～15時間)	くん煙室容積100 m ³ (床面積50 m ² ,高さ2 m)当たり20 g	収穫前日まで	—	4回以内	
	40.0% SC	常温煙霧	33倍	収穫前日まで	10 L/10 a	4回以内	
		散布	1000倍		100～300 L/10 a		
	60.0% WP 配合剤3	散布	1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	50.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	4回以内	
					100～300 mL/m ²		
	50.0% WP 配合剤6	散布	1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	4回以内	
	40.0% SC 配合剤9	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	4回以内	
	40.0% SC 配合剤11	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤12	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
32.0% SC 配合剤5	散布	800～1000倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	3回以内		
		800倍					
0.030% AE 配合剤10	噴霧液が均一に付着するように噴射する。	—	収穫前日まで	—	3回以内		

クロタロニルの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロタロニル を含む農薬の 総使用回数
きゅうり	82.5% WP	常温煙霧	100倍	収穫前日まで	10 L/10 a	12回以内	14回以内(土壌灌 注は2回以内、散 布、常温煙霧、 くん煙及びエア ゾル剤の噴射は 合計12回以内)
		散布	2000倍		100～300 L/10 a		
		土壌灌注	2000～4000倍	は種時	セル成型育苗トレ イ1箱(30×60 cm、 使用土壌約5 L)当 たり0.5 L	1回	
				は種時又は活着後 た だし、定植14日後まで	3 L/m ²	2回以内	
	53.0% SC	散布	1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	12回以内	
	46.0% FU	くん煙(通常10～15 時間)	くん煙室容積100 m ³ (床面積50 m ² ,高 さ2 m)当たり20 g	収穫前日まで	—	8回以内	
	40.0% SC	常温煙霧	33倍	収穫前日まで	10 L/10 a	12回以内	
		散布	1000倍		100～300 L/10 a		
		土壌灌注		は種時又は活着後 た だし、定植14日後まで	3 L/m ²	2回以内	
	4.0% DP	散布	3～4 kg/10 a	収穫前日まで	—	8回以内	
	60.0% WP 配合剤3	散布	1500～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
			1500倍				
	50.0% WP 配合剤4	散布	1000～1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
					100～300 mL/m ²		
			1000倍		100～300 L/10 a		
					100～300 mL/m ²		
	50.0% WP 配合剤6	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	4回以内	
	40.0% SC 配合剤9	散布	1000倍	収穫前日まで	150～300 L/10 a	4回以内	
40.0% SC 配合剤11	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内		
40.0% SC 配合剤12	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内		
32.0% SC 配合剤5	散布	800～1000倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	3回以内		
		800倍					
0.030% AE 配合剤10	噴霧液が均一に付着 するように噴射す る。	—	収穫前日まで	—	3回以内		

クロタロニルの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロタロニル を含む農薬の 総使用回数	
かぼちゃ	53.0% SC	散布	1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内	
		無人航空機による散布	16倍		3.2 L/10 a			
			8倍		1.6 L/10 a			
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内		
	50.0% WP 配合剤4	散布		1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a		3回以内
						100～300 mL/m ²		
	50.0% WP 配合剤6	散布		1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a		3回以内
40.0% SC 配合剤7	無人航空機による散布	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内		
			16倍		1.6 L/10 a			
40.0% SC 配合剤8	散布		1000倍	収穫7日前まで	100～400 L/10 a	3回以内		
32.0% SC 配合剤5	散布		1000倍	収穫7日前まで	100～400 L/10 a	3回以内		
ズッキーニ	82.5% WP	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内	
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内		
	40.0% SC 配合剤11	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内		
すいか	82.5% WP	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内	
	53.0% SC	散布	1500倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	5回以内		
	40.0% SC	散布	700～1000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	5回以内		
			700倍					
	4.0% DP	散布		5 kg/10 a	収穫3日前まで	—		5回以内
	50.0% WP 配合剤4	散布		1000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a		5回以内
						100～300 mL/m ²		
	50.0% WP 配合剤6	散布		1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a		3回以内
	40.0% SC 配合剤7	散布		1000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a		3回以内
	40.0% SC 配合剤8	散布		1000倍	収穫3日前まで	100～400 L/10 a		4回以内
	40.0% SC 配合剤9	散布		1000倍	収穫3日前まで	150～300 L/10 a		4回以内
40.0% SC 配合剤11	散布		1000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内		
32.0% SC 配合剤5	散布		800～1000倍	収穫7日前まで	100～400 L/10 a	3回以内		
			800倍					

クロタロニルの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロタロニル を含む農薬の 総使用回数
メロン	82.5% WP	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内
	53.0% SC	散布	1500倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	
			700～1000倍				
			700倍				
	60.0% WP 配合剤3	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	50.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a 100～300 mL/m ²	5回以内	
	50.0% WP 配合剤6	散布	1500倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	32.0% SC 配合剤5	散布	800～1000倍	収穫3日前まで	100～400 L/10 a	3回以内	
			800倍				
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫3日前まで	100～400 L/10 a	4回以内	
	40.0% SC 配合剤9	散布	1000倍	収穫3日前まで	150～300 L/10 a	4回以内	
40.0% SC 配合剤11	散布	1000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内		
32.0% SC 配合剤5	散布	800～1000倍	収穫3日前まで	100～400 L/10 a	3回以内		
		800倍					
うり類(成熟、 ただし、すいか、まくわうり を除く)	82.5% WP	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内
うり類(漬物 用、ただし、ゆ うがおを除く)	40.0% SC	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	4回以内	4回以内
まくわうり	82.5% WP	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	50.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
にがうり	82.5% WP	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	4回以内	4回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	4回以内	
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～400 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤11	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
ゆうがお	82.5% WP	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	5回以内	
オクラ	40.0% SC	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内
しょうが	82.5% WP	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	
		無人航空機による散 布	16倍		3.2 L/10 a		

クロロタロニルの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロロタロニル を含む農薬の 総使用回数
うど	40.0% SC	散布	1000倍	根株養成期 ただし、 収穫200日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内(散布は3 回以内、根株瞬 間浸漬は1回以 内)
	32.0% SC 配合剤5	根株瞬間浸漬	800倍	伏込時 ただし、収穫 25日前まで	—	1回	
りんご	72.0% WP	散布	1000～1500倍	収穫45日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
	40.0% SC		1000倍				
なし	40.0% SC	散布	1000倍	収穫45日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
なし(西洋なし を除く)	72.0% WP	散布	1000倍	収穫後～落葉終了まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
西洋なし	72.0% WP	散布	1000倍	収穫30日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
				収穫後～落葉終了まで			
マルメロ	40.0% SC	散布	1000倍	収穫30日前まで	200～700 L/10 a	4回以内	4回以内
もも	72.0% WP	散布	1000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	6回以内	6回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	6回以内	
	50.0% WP 配合剤2	散布	1000～1500倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	
			1000倍				
40.0% SC 配合剤9	散布	1000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内		
ネクタリン	72.0% WP	散布	1000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	6回以内	6回以内
	40.0% SC 配合剤9	散布	1000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
				収穫前日まで		2回以内	
すもも	40.0% SC 配合剤9	散布	1000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
おうとう	72.0% WP	散布	2000倍	収穫後～落葉終了まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
ぶどう	72.0% WP	散布	250～400倍	休眠期	100～300 L/10 a	1回	3回以内(休眠期 は1回以内)
	32.0% SC 配合剤5	散布	1500倍	収穫60日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
	40.0% SC 配合剤9	散布	2000倍	収穫60日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	
かき	72.0% WP	散布	1500倍	収穫30日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
キウイフルーツ	72.0% WP	散布	1000倍	収穫60日前まで	200～700 L/10 a	7回以内	7回以内
	40.0% SC	散布	500～1000倍	収穫60日前まで	200～700 L/10 a	7回以内	
500倍							
パパイヤ	40.0% SC	散布	1000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	5回以内	5回以内
パッションフ ルーツ	72.0% WP	散布	1500倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	
いちじく	72.0% WP	散布	3000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
	40.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	
かりん	40.0% SC	散布	1000倍	収穫45日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内

クロロタロニルの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロロタロニル を含む農薬の 総使用回数
茶	82.5% WP	散布	2000倍	摘採10日前まで	200～400 L/10 a	1回	1回
	53.0% SC	散布	1500倍	摘採10日前まで	200～400 L/10 a	1回	
	40.0% SC	散布	1000倍	摘採10日前まで	200～400 L/10 a	1回	
			700～1000倍				
700倍							
しそ	40.0% SC	株元散布	1000倍	収穫前日まで	150 L/10 a	4回以内	4回以内
みょうが(花穂)	40.0% SC	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	4回以内	4回以内
みょうが(茎葉)	40.0% SC	散布	1000倍	みょうが(花穂)の収穫 14日前まで ただし花 穂を収穫しない場合に あつては開花期終了ま で	100～300 L/10 a	4回以内	4回以内

SC：フロアブル

DP：粉剤

WP：水和剤

AE：エアゾル

FU：くん煙剤

配合剤1：4.6% カスガマイシン

配合剤2：20.0% ベノミル

配合剤3：24.0% シモキサニル

配合剤4：5.0% ベンチアバリカルブイソプロピル

配合剤5：3.3% メタラキシルM

配合剤6：20.0% ジメトモルフ

配合剤7：6.4% ベンチオピラド

配合剤8：5.1% アゾキシストロビン

配合剤9：3.2% シアゾファミド

配合剤10：0.010% ペルメトリン

配合剤11：5.0% ピラジフルミド

配合剤12：0.8% フルチアニル

今回基準値設定依頼のあった適用の範囲及び使用方法を網掛けで示した。

－：規定されていない項目

クロロタロニルの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
水稲 (箱育苗) (玄米)	1	75.0% WP	600倍灌注 300 mL/箱	1	129	圃場A:<0.001/- (#)		
			600倍灌注 500 mL/箱	2	121	圃場A:<0.001/- (#)		
	1		500倍灌注 500 mL/箱	2	101	圃場A:<0.001/- (#)		
			2	20倍種子浸漬 +500倍灌注 500 mL/箱	1 +1, 2	154, 160	圃場A:<0.004 (\$)/- (3回, 154日) (#)	
	131, 138					圃場B:<0.004 (\$)/- (3回, 131日) (#)		
	2		40.0% SC	500倍灌注 500 mL/箱	2	127	圃場A:<0.005/<0.005 (\$1)	◎
				145	圃場B:<0.01/<0.010 (\$1)			
2		250倍灌注 500 mL/箱	2	119	圃場C:<0.010/- (#)			
				96	圃場D:<0.010/- (#)			
小麦 (玄麦)	2	53.0% SC	20倍散布 100 L/10 a 播種前土壌全面処理 秋播栽培 (耕起後、当日播種)	1	313	圃場A:<0.01/<0.01 (\$1)		
					175	圃場B:<0.01/<0.01 (\$1)		
	2	10.0% DP	全面施用 土壌混和 秋播栽培 30 kg/10 a	1	316	圃場A:<0.01/<0.01 (\$1)	◎	
					217	圃場B:<0.01/<0.01 (\$1)		
1		全面施用 土壌混和 秋播栽培 20 kg/10 a	1	203	圃場A:<0.025/-			
				作条施用 土壌混和 秋播栽培 20 kg/10 a	1	203	圃場A:<0.025/-	
大麦 (玄麦)	1	10.0% DP	全面施用 土壌混和 秋播栽培 30 kg/10 a	1	203	圃場A:<0.004 (\$)/<0.004 (\$1)	◎	
			作条施用 土壌混和 秋播栽培 20 kg/10 a			圃場A:<0.004 (\$)/- (\$1)		
大豆 (乾燥子実)	2	82.5% WP	1250倍散布 200 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:0.030/- (3回, 21日) (#)		
						圃場B:0.015/- (3回, 21日) (#)		
	6	5.0% DP	4 kg/10 a 散布	2	14, 21, 28	7, 14, 21	圃場A:0.070/- (4回, 21日) (#)	
						7, 14, 19	圃場B:0.057/- (4回, 19日) (#)	
							圃場A:0.035/- (2回, 21日) (#)	
							圃場B:0.010/- (2回, 21日) (#)	
					圃場C:0.010/- (2回, 21日) (#)			
					圃場D:<0.01/- (2回, 21日) (#)			
あずき (乾燥子実)	2	82.5% WP	1100倍散布 150~200 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:0.050/- (3回, 14日) (#)		
						7, 15, 22	圃場B:0.038/- (3回, 15日) (#)	
	2	75.0% WP	600倍散布 100 L/10 a	3	16	圃場A:0.036/- (#)		
						14	圃場B:0.041/- (#)	
				4	7	圃場A:0.046/- (#)		
						圃場B:0.098/- (#)		
いんげんまめ (乾燥子実)	2	40.0% SC	1000倍散布 100~200 L/10 a	3	21	圃場A:<0.01/- (#)		
					22	圃場B:<0.01/- (#)		
らっかせい (乾燥子実)	2	75.0% WP	600倍散布 150~167 L/10 a	1, 4	47, 79	圃場A:<0.001/- (4回, 47日) (#)		
					30 (1回), 51 (1回) 16 (4回), 37 (4回)	圃場B:<0.001/- (4回, 16日) (#)		
	2	40.0% SC	500倍散布 200 L/10 a	4	3, 7, 14	圃場A:<0.005/-		
						圃場B:<0.005/-		
2		500倍散布 150 L/10 a	4	9, 15, 23	圃場A:<0.005/- (4回, 15日)			
				14, 21	圃場B:<0.01/-			

クロロタロニルの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
ばれいしょ (塊茎)	2	82.5% WP	1000倍散布 200 L/10 a	5	7, 14, 21	圃場A:0.001/- (5回, 21日) (#) 圃場B:0.002/- (#)	
	2	75.0% WP	600倍散布 100 L/10 a	7, 10	7, 14	圃場A:0.005/- (7回, 7日) (#) 圃場B:0.003/- (10回, 7日) (#)	
	2	53.0% SC	125倍散布 25 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A:<0.01/- 圃場B:<0.01/-	
	5	40.0% SC	500倍散布 200 L/10 a	5	7, 14, 21	圃場A:<0.005/- 圃場B:<0.005/-	
					7, 14	圃場C:<0.005/- 圃場D:<0.01/- 圃場E:<0.01/-	
	2		300倍散布 200 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A:<0.01/- (#) 圃場B:<0.01/- (#)	
やまのいも (塊茎)	3	75.0% WP	600倍散布 300 L/10 a	3, 6	23, 43, 63	圃場A:0.010/- (6回, 23日) (#)	
			600倍散布 250~300 L/10 a	4, 7	30, 40, 50	圃場B:<0.0002/- (7回, 30日) (#) 圃場C:<0.0002/- (7回, 30日) (#)	
	3	40.0% SC	1000倍散布 250 L/10 a	6	7, 14, 21	圃場A:<0.001/- (6回, 21日) (#) 圃場B:<0.001/- (6回, 21日) (#)	
			1000倍散布 200 L/10 a		27, 45, 60	圃場C:<0.005/- (6回, 27日) (#)	
てんさい (根部)	6	53.0% SC	750倍散布 200 L/10 a	3	28, 35	圃場A:0.03/- (3回, 35日)	
			750倍散布 195 L/10 a			圃場B:0.01/- (3回, 28日) (#)	
			750倍散布 180 L/10 a			圃場C:0.02/- (3回, 28日) (#)	
			750倍散布 200 L/10 a		21, 28, 35	圃場D:0.09/- (3回, 28日) (#)	
			750倍散布 188 L/10 a			圃場E:0.02/- (3回, 28日) (#)	
			750倍散布 180 L/10 a			圃場F:0.06/- (3回, 28日) (#)	
	2	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	3	30, 45, 60	圃場A:<0.01/-	
			1000倍散布 100 L/10 a		27, 41, 56	圃場B:<0.01/- (3回, 56日)	
	2		1000倍散布 100 L/10 a	4	30 42	圃場A:<0.005/- (#) 圃場B:<0.005/- (#)	
	2	75.0% WP	500倍散布 100 L/10 a	3, 5	21, 32, 40 20, 30, 40	圃場A:0.108/- (5回, 32日) (#) 圃場B:0.675/- (5回, 30日) (#)	
てんさい (葉部)	1	40.0% SC	1000倍散布 100 L/10 a	4	42	圃場A:1.610/- (#)	
	2	75.0% WP	500倍散布 100 L/10 a	3, 5	21, 32, 40 20, 30, 40	圃場A:7.88/- (5回, 32日) (#) 圃場B:24.4/- (5回, 30日) (#)	
さとうきび (茎)	2	75.0% WP	400倍散布 150 L/10 a	1, 2	191, 201 67, 78	圃場A:<0.0004/- (2回, 191日) (#) 圃場B:0.0024/- (2回, 67日) (#)	
だいこん (根部)	2	40.0% SC	1000倍散布 100 L/10 a	3	30, 45, 60	圃場A:<0.01/-	
			1000倍散布 150~300 L/10 a		30, 44, 59	圃場B:<0.01/- (3回, 44日)	
だいこん (葉部)	2	40.0% SC	1000倍散布 100 L/10 a	3	30, 45, 60	圃場A:0.108/0.007 (\$2)	◎
			1000倍散布 150~300 L/10 a		30, 44, 59	圃場B:0.810/0.054 (\$2)	

クロロタロニルの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等	
		剤型	使用量・使用方法	回数			経過日数
かぶ (根部)	2	10.0% DP	作条施用 土壌混和 40 kg/10 a	1	75	圃場A:0.002/-	
					62	圃場B:0.001/-	
	2	10.0% DP +75.0% WP	作条施用 土壌混和 40 kg/10 a +800倍作条灌注 1000 L/10 a	1+1	54	圃場A:0.002/-(#)	
					42	圃場B:0.001/-(#)	
かぶ (葉部)	2	10.0% DP	作条施用 土壌混和 40 kg/10 a	1	62	圃場A:0.002/<0.0002(\$2)	◎
					53	圃場B:<0.01/<0.0007(\$2)	
	1	10.0% DP +75.0% WP	作条施用 土壌混和 40 kg/10 a +600倍作条灌注 3000 L/10 a	1+1	42	圃場B:0.006/-(#)	
はくさい (茎葉)	2	75.0% WP	800倍散布 150 L/10 a	2	14, 21, 30	圃場A:0.037/- (2回, 14日) (#)	
					14, 21	圃場B:2.930/- (2回, 14日) (#)	
	1	75.0% WP	600倍散布 150 L/10 a	2, 5	1, 7, 14	圃場A:0.95/- (2回, 7日) (#)	
						圃場B:4.79/- (3回, 7日) (#)	
	1	75.0% WP	600倍散布 200 L/10 a	3, 5			
	2	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	2	14, 21, 30	圃場A:0.155/- (2回, 21日)	
					14, 21, 31	圃場B:0.280/- (2回, 21日)	
	3	10.0% DP	土壌混和 40 kg/10 a	1	70	圃場A:<0.002(\$)/-	
					84	圃場B:<0.002(\$)/-	
					83	圃場C:<0.002(\$)/-	
				1	83	圃場C:<0.002/-(#)	
	2	20.0% DP	土壌混和 40 kg/10 a	1	70	圃場A:<0.002(\$)/-(#)	
					84	圃場A:<0.002(\$)/-(#)	
2	10.0% DP +40.0% SC	植穴処理 土壌混和 15 g/植穴 +1000倍散布 200 L/10 a	1+4	7, 14, 21	圃場A:0.908/- (5回, 14日) (#) 圃場B:0.292/- (5回, 7日) (#)		
2	10.0% DP +82.5% WP	植穴処理 土壌混和 15 g/植穴 +1250倍散布 200 L/10 a	1+2	7, 14, 21	圃場A:0.518/0.010(\$3) (3回, 7日) (#) 圃場B:0.295/0.006(\$3) (3回, 7日) (#)	◎	
キャベツ (葉球)	3	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	2	7, 14, 20	圃場A:0.024/-	
					7, 14, 21	圃場B:0.121/-	
					14, 21	圃場C:<0.01/-	
	2	10.0% DP	土壌混和 40 kg/10 a	1	99	圃場A:0.002/-	
					69	圃場B:<0.001/-	
	2	10.0% DP +53.0% SC	植穴処理 土壌混和 10 g/植穴 +1100倍散布 200 L/10 a	1+2	99	圃場A:<0.001/-(#)	
					69	圃場B:<0.001/-(#)	
	2	10.0% DP +82.5% WP	植穴処理 土壌混和 15 g/植穴 +1250倍散布 150, 200 L/10 a	1+2	7, 14, 21	圃場A:0.562/0.0107(\$3) (#)	◎
7, 13, 21					圃場B:0.010/0.0002(\$3) (3回, 13日) (#)		
2	10.0% DP +82.5% WP	植穴処理 土壌混和 15 g/植穴 +1250倍散布 150, 200 L/10 a	1+2	14, 21, 28	圃場A:0.090/- (3回, 14日) (#)		
					圃場B:0.775/- (3回, 14日) (#)		

クロロタロニルの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等	
		剤型	使用量・使用方法	回数			経過日数
キャベツ (葉球)	2	10.0% DP +75.0% WP	土壌混和 40 kg/10 a +600倍散布 193, 235 L/10 a	1+1	14, 21	圃場A:0.024/- (2回, 14日) (#)	
			土壌混和 40 kg/10 a +600倍散布 200 L/10 a			圃場B:0.020/- (2回, 14日) (#)	
	2		土壌混和 40 kg/10 a +600倍散布 193, 235 L/10 a	1+2	14, 21	圃場A:0.018/- (3回, 14日) (#)	
						土壌混和 40 kg/10 a +600倍散布 200 L/10 a	圃場B:0.026/- (3回, 14日) (#)
	2		0.03% AE (エアロゾル)	原液噴霧 9.4~16.3 g/株 60 L/10 a	4	3, 7, 14, 21	圃場A:0.102/- (4回, 3日) (#)
					3		圃場B:0.026/- (3回, 3日) (#)
カリフラワー (花蕾)	2	40.0% SC	1000倍散布 300 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A:<0.012(\$)/-	
			1000倍散布 150 L/10 a		2, 9, 16	圃場B:0.022/- (3回, 16日)	
ブロッコリー (花蕾)	4	40.0% SC	1000倍灌注3 L/m ² +散布260 L/10 a	1+2	8, 15, 30	圃場A:0.065/- (3回, 20日)	
			1000倍灌注3 L/m ² +散布250 L/10 a		4, 20, 35	圃場B:0.050/- (3回, 35日)	
			1000倍灌注3 L/m ² +散布200 L/10 a		21, 28, 42	圃場C:0.148/- 圃場D:0.035/-	
ひろしまな (茎葉)	2	40.0% SC	1000倍散布 150 L/10 a	2	14, 21, 28, 34	圃場A:<0.1/-	
					14, 21, 28, 35	圃場B:<0.1/-	
みずな (茎葉)	2	40.0% SC	1000倍 土壌全面散布 3000 L/10 a	1	29	圃場A:0.002/0.00004(\$3) 圃場B:0.007/0.0001(\$3)	
	2	40.0% SC	500倍 土壌全面散布 3000 L/10 a	1	29	圃場A:0.017/- (#) 圃場B:0.021/- (#)	
なばな (茎葉)	2	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	3	21, 28, 35	圃場A:0.055/0.0010(\$3) 圃場B:0.030/0.0006(\$3) (3回, 28日)	
ごぼう (根部)	3	40.0% SC	1000倍散布 189 L/10 a	5	1	圃場A:<0.01/-	
			1000倍散布 189 L/10 a		1, 3, 7	圃場B:0.010/-	
			1000倍散布 179 L/10 a			圃場C:0.010/-	
	2	10.0% DP	土壌混和 20 kg/10 a	1	237 206	圃場A:0.037/- (#) 圃場B:0.029/- (#)	
レタス (茎葉)	2	75.0% WP	600倍散布 200 L/10 a	3	14, 21	圃場A:0.023/- (#) 圃場B:0.052/- (#)	
	3	40.0% SC	1000倍散布 300 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:0.008/0.0002(\$3) (3回, 21日)	
					7, 14, 23 14, 21	圃場B:0.242/0.0046(\$3) 圃場C:<0.01/0.0002(\$3)	
	2	40.0% SC	1000倍灌注 3 L/m ² +1000倍散布 200 L/10 a	2+3	7, 14, 21 14, 21, 28	圃場A:0.012/- 圃場B:0.162/-	
	2	10.0% DP +75.0% WP	土壌混和 40 kg/10 a +600倍散布 200 L/10 a	1+2	14, 21	圃場A:0.040/- (3回, 14日) (#) 圃場B:0.032/- (3回, 14日) (#)	
リーフレタス (茎葉)	2	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:0.010/- (#)	
				2	14, 20, 28	圃場B:0.082/- (2回, 20日)	
ふき (葉柄)	2	40.0% SC	1000倍散布 150 L/10 a	2	21, 30, 45	圃場A:0.285/<0.01(\$4) 圃場B:0.370/<0.01(\$4)	
食用菊 (花卉)	3	40.0% SC	1000倍散布 300 L/10 a	4	7, 14, 21, 28	圃場A:0.092/- (4回, 28日) (#)	
					7, 14, 21	圃場B:0.650/- (4回, 21日) (#)	
					7, 14, 21, 28	圃場C:0.021/- (4回, 28日) (#)	
やまごぼう (根部)	2	40.0% SC	1000倍散布 100 L/10 a	3	30, 45, 60	圃場A:<0.01/- 圃場B:<0.01/-	

クロロタロニルの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
たまねぎ (鱗茎)	2	82.5% WP	1000倍散布 200 L/10 a	6	7, 14, 21	圃場A:<0.01/-(#) 圃場B:0.015/-(#)	
	4	75.0% WP	600倍散布 150 L/10 a	7	1, 7	圃場A:0.009/- (7回, 7日) (#)	
			600倍散布 200 L/10 a			圃場B:<0.006(\$)/- (7回, 1日) (#)	
			600倍散布 90~150 L/10 a	4, 7	5, 10, 14	圃場C:<0.005/- (7回, 5日) (#)	
	3	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	7	3, 7, 14	圃場A:<0.005/-(#)	
						圃場B:<0.005/-(#)	
	2	40.0% SC	500倍散布 150 L/10 a	7	7, 14, 21	圃場C:0.008/-(#)	
圃場D:<0.005/- (7回, 5日) (#)							
ねぎ (茎葉)	2	40.0% SC +82.5% WP	500倍育苗箱土壌灌注 0.5 L/m ² +1250倍散布 200 L/10 a	1+3	14, 21, 28	圃場A:0.30/- (4回, 14日) (#)	
			500倍土壌灌注 0.5 L/m ² +1250倍散布 200 L/10 a			圃場A:1.66/- (4回, 14日) (#)	
	4	40.0% SC	500倍定植前日 土壌灌注 0.5 L/m ² +1000倍散布 200 L/10 a	1+2	14, 21, 30	圃場A:0.675/- 圃場B:0.180/-	
			500倍灌注 0.5 L/m ² + 1000倍散布 200 L/10 a	1+2	14, 21, 30	圃場A:0.215/-	
			500倍灌注 0.5 L/m ² + 1000倍散布 150 L/10 a			圃場B:0.360/-	
	2	40.0% SC	500倍 0.5 L/m ² (苗トレイ) +1000倍散布 200 L/10 a	1+3	14, 21, 30	圃場A:0.25/-	
			500倍土壌灌注 0.5 L/m ² +1000倍散布 200 L/10 a			圃場B:2.48/-	
	2	40.0% SC	500倍灌注 0.5 L/セルトレイ +1000倍散布 200 L/10 a	1+4	7, 14, 21	圃場A:0.760/-(#)	
			500倍灌注 0.5 L/セルトレイ +1000倍散布 187 L/10 a			圃場B:<0.01/-(#)	
	2	40.0% SC	500倍灌注 0.5 L/セルトレイ	1	194	圃場A:<0.01/-	
97					圃場B:<0.01/-		
にんにく (鱗茎)	3	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	6	3, 7, 14	圃場A:<0.01/0.0003(\$)	◎
			1000倍散布 250 L/10 a			圃場B:<0.01/0.0003(\$)	
	2	75.0% WP	600倍散布 200 L/10 a	6	7, 14, 21	圃場C:<0.005/0.0001(\$)	
			600倍散布 250 L/10 a			圃場A:0.068/0.0018(\$) (6回, 14日) (#)	◎
					圃場B:0.032/0.0008(\$) (6回, 7日) (#)		

クロロタロニルの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等	
		剤型	使用量・使用方法	回数			経過日数
アスパラガス (若茎)	2	75.0% WP	600倍散布 500 L/10 a	6	228	圃場A:0.012/-(#)	
			600倍散布 400 L/10 a		249	圃場B:0.012/-(#)	
	1		600倍散布 160 L/10 a	3	234, 275	圃場A:<0.0005/- (3回, 234日) (#)	
				6	224, 265	圃場A:<0.0005/- (6回, 224日) (#)	
				9	193, 234	圃場A:<0.0005/- (9回, 193日) (#)	
	6		1000倍散布	238 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:0.445/-
		289 L/10 a		圃場B:0.300/-			
		278 L/10 a		圃場C:0.505/-			
		224~282 L/10 a		圃場D:1.045/-			
		289 L/10 a		圃場E:0.150/-			
		205~288 L/10 a		圃場F:1.070/-			
	2	40.0% SC	1000倍散布 500 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.470/-(#) 圃場B:0.610/-(#)	
	2		1000倍散布 400 L/10 a	3	3, 7	圃場A:0.398/-	
			1000倍散布 500 L/10 a			圃場B:0.125/-(#)	
	2		1000倍散布 400 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A:1.195/<0.01 (\$4) 圃場B:1.890/<0.01 (\$4)	◎
2	1000倍散布 400 L/10 a		5	3, 7	圃場A:3.355/-		
					圃場B:0.425/-(#)		
1	500倍散布 400 L/10 a	6	254	圃場A:<0.005/-(#)			
1	53.0% SC	16倍無人ヘリ散布 3.2 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.590/-		
1		8倍無人ヘリ散布 1.6 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.810/-		
わけぎ (茎葉)	2	40.0% SC	500倍土壌灌注 0.5 L/m ² +1000倍散布 150 L/10 a	1+2	7, 14, 21	圃場A:0.708/0.028 (\$6) 圃場B:1.205/0.048 (\$6)	◎
らっきょう (鱗茎)	2	82.5% WP	1250倍散布 250 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:<0.01/-(#)	
			1250倍散布 300 L/10 a			圃場B:<0.01/-(#)	
	2	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	3	13, 20, 27	圃場A:<0.015/- (3回, 13日)	
				5	14, 21, 28	圃場B:<0.010/-	
2	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	5	14, 21	圃場A:<0.015/- (5回, 14日) (#)		
				14, 29	圃場B:<0.202/- (5回, 29日) (#)		
食用ゆり (鱗茎)	2	40.0% SC	1000倍散布 150 L/10 a	6	14, 21	圃場A:<0.006/- 圃場B:<0.006/-	
			500倍散布 150 L/10 a	6	14, 21	圃場B:<0.006/-(#)	

クロロタロニルの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1 【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数		
にんじん (根部)	2	53.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	5	7, 14, 21	圃場A:0.122/0.008(\$2) (5回, 14日) 圃場B:0.015/0.001(\$2)
	3		750倍散布 200 L/10 a	5	7, 14, 21	圃場A:0.015/0.001(\$2) 圃場B:0.140/0.009(\$2) (5回, 21日)
		7, 14, 21, 28				圃場C:0.112/0.008(\$2) (5回, 14日)
	2	40.0% SC	1000倍散布 93.8~200 L/10 a	5	7, 14, 21	圃場A:<0.01/- 圃場B:0.05/-
	1000倍散布 200 L/10 a					
セルリー (茎葉)	4	40.0% SC	1000倍散布 300 L/10 a	2	14, 21, 28	圃場A:0.71/<0.01(\$4) 圃場B:4.44/<0.01(\$4) 圃場C:0.245/<0.01(\$4) 圃場D:0.070/<0.01(\$4)
			1000倍散布 200 L/10 a			7, 14, 21
みつば (茎葉)	2	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	1	1, 78, 84, 90	圃場A:0.002/- (1回, 78日) 圃場B:0.002/- (1回, 48日) (#)
			1000倍散布 200 L/10 a	3	1, 78, 84, 90	圃場A:<0.002/<0.01(\$4) (3回, 78日) 圃場B:0.005/<0.01(\$4) (3回, 48日) (#)
			1000倍散布 200 L/10 a	4	21, 27, 33	圃場A:0.028/- (4回, 33日) (#) 圃場B:0.024/- (4回, 34日) (#)
					22, 28, 34	
1000倍散布 200 L/10 a	5	1, 78, 84, 90	圃場A:<0.002/- (5回, 78日) (#) 圃場B:0.003/- (5回, 48日) (#)			
1, 36, 42, 48						
あしたば (茎葉)	2	40.0% SC	1000倍散布 300 L/10 a	3	32, 45, 60	圃場A:0.175/<0.01(\$4) (3回, 32日) 圃場B:0.020/<0.01(\$4)
			1000倍散布 250 L/10 a		30, 45, 60	
トマト (果実)	2	82.5% WP	1500倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:0.138/- (#) 圃場B:1.050/- (#)
			1500倍散布 250 L/10 a			
	1500倍散布 175~245 L/10 a		4	1, 3, 7	圃場A:1.430/- (#) 圃場B:0.878/- (4回, 3日) (#)	
					1500倍散布 250 L/10 a	
	2	75.0% WP	600倍散布 250 L/10 a	3, 5	1, 3, 7	圃場A:0.774/- (5回, 3日) (#) 圃場B:2.320/- (5回, 3日) (#)
	2		600倍散布 120 L/10 a	7	1, 3, 7	圃場A:4.011/- (7回, 1日) (#) 圃場B:1.380/- (7回, 3日) (#)
	2		600倍散布 150 L/10 a	6, 10	1, 3, 7	圃場A:0.534/- (10回, 3日) (#) 圃場B:1.483/- (6回, 1日) (#)
1	蒸散器使用 0.15 g/m ³			2	1, 3, 7	圃場A:0.270/- (2回, 7日) (#)

クロロタロニルの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等	
		剤型	使用量・使用方法	回数			経過日数
トマト (果実)	5	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:0.303/- (2回, 7日) 圃場B:0.093/- (2回, 7日) 圃場C:0.358/- (2回, 7日) 圃場D:0.744/- (2回, 3日) 圃場E:0.274/- (2回, 7日)	
	1		1000倍灌注 3 L/m ² + 散布 200 L/10 a	2+2	1, 3, 7	圃場A:0.495/- (4回, 3日)	
	2		1000倍散布 300 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:0.335/-	
			1000倍散布 250 L/10 a			圃場B:1.618/-	
	3		1000倍灌注 3 L/m ² +1000倍散布 278 L/10 a	2+4	1, 3, 7	圃場A:0.69/- (6回, 3日)	
			1000倍灌注 3 L/m ² +1000倍散布 250 L/10 a			圃場B:0.700/-	
			1000倍灌注 3 L/m ² +750倍散布 200 L/10 a			圃場A:0.425/- (#)	
	5		1000倍散布 120~240 L/10 a	10	1, 3, 7	圃場A:0.890/- (10回, 7日)	
			1000倍散布 159~238 L/10 a			圃場B:0.305/-	
			1000倍散布 200~280 L/10 a			圃場C:1.885/- (10回, 3日)	
			1000倍散布 250 L/10 a			圃場D:0.560/-	
	2		1000倍灌注 3 L/m ² + 散布 120~241 L/10 a	2+10	1, 3, 7	圃場A:0.165/-	
			1000倍灌注 3 L/m ² + 散布 161~281 L/10 a			圃場B:0.855/- (12回, 7日)	
	2		40.0% SC +82.5% WP	1000倍灌注 3 L/m ² +1250倍散布 200 L/10 a	2	63	圃場A:<0.01/-
						62	圃場B:<0.01/-
	2		40.0% SC +28.0% FU	1000倍灌注 3 L/m ² +1250倍散布 200 L/10 a	2+4	1, 7, 14	圃場A:0.742/- (#) 圃場B:0.795/- (#)
	2		50.0% FU	<ん煙 0.2 g/m ³	5, 10	1, 3, 7	圃場A:0.513/- (10回, 3日) (#) 圃場B:0.868/- (10回, 1日) (#)
	2		46.0% FU (煙煙顆粒剤)	<ん煙 0.2 g/m ³	2	1, 3, 7	圃場A:0.148/- (2回, 3日) 圃場B:0.162/- (2回, 7日)
	2		40.0% FU	<ん煙 0.225 g ai/m ³	5, 7	1, 3, 7	圃場A:0.486/- (5回, 3日) (#)
				<ん煙 0.115 g ai/m ³			圃場B:0.652/- (7回, 3日) (#)
	2		28.0% FU	<ん煙 0.4 g/m ³	4	1, 3, 7	圃場A:0.805/- (4回, 1日) (#) 圃場B:0.790/- (4回, 1日) (#)
	2		40.0% SC +28.0% FU	1000倍灌注 3 L/m ² + <ん煙 0.4 g/m ³	2+4	1, 3, 7	圃場A:0.730/- (#) 圃場B:0.945/- (#)
	2		30.0% FD	500 g/10 a	4, 7	1, 7, 14	圃場A:1.239/- (7回, 1日) (#) 圃場B:1.144/- (7回, 1日) (#)
2	0.03% AE	原液噴霧 28.5~30.9 g/株 原液噴霧 114.6~124.8 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:0.024/- 圃場B:0.303/-		
		原液散布 十分量			4	1, 3, 7	圃場A:0.068/- (#) 圃場B:0.040/- (#)
2	40.0% SC + 0.03% AE	1000倍灌注 3 L/m ² +原液噴霧 67缶/10 a	2+4	1, 3, 7	圃場A:0.020/- (#)		
		1000倍灌注 3 L/m ² +原液噴霧 222缶/10 a			圃場B:0.030/- (#)		

クロロタロニルの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等	
		剤型	使用量・使用方法	回数			経過日数
ミニトマト (果実)	3	40.0% SC	1000倍散布 259 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A: 1.68/- (2回, 7日)	
			1000倍散布 273 L/10 a			圃場B: 1.06/-	
			1000倍散布 265 L/10 a			圃場C: 2.50/-	
	2		1000倍灌注 3 L/m ² +1000倍散布 200 L/10 a	2+4	1, 3, 7	圃場A: 2.62/-	
			1000倍灌注 3 L/m ² +1000倍散布 196.4 L/10 a			圃場B: 1.79/-	
	3		1000倍灌注 3 L/m ² +1000倍散布 120~247 L/10 a	2+10	1, 3, 7	圃場A: 2.18/0.018(\$7)	◎
			1000倍灌注 3 L/m ² +1000倍散布 159~280 L/10 a			圃場B: 3.55/0.029(\$7)	
			1000倍灌注 3 L/m ² +1000倍散布 226 L/10 a			圃場C: 3.10/0.026(\$7)	
2	1000倍灌注 3 L/m ²	2	40 56	圃場A: <0.01/-			
				圃場C: <0.01/-			
ピーマン (果実)	2	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: 2.69/-	
			1000倍散布 200 L/10 a			2, 3, 4	圃場B: 3.22/0.054(\$8)
	3		1000倍散布 222 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場C: 2.12/0.035(\$8) (2回, 7日)	◎
			1000倍散布 160, 180, 200 L/10 a			圃場D: 3.02/0.050(\$8)	◎
			1000倍散布 282 L/10 a			圃場E: 4.60/0.077(\$8)	◎
なす (果実)	2	82.5% WP	1250倍散布 200 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A: 0.328/- (#)	
			1250倍散布 300 L/10 a			圃場B: 0.450/- (#)	
	4	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	4		圃場A: 0.445/0.004(\$7)	◎
			1000倍散布 200, 220 L/10 a			圃場B: 0.790/0.007(\$7) (4回, 3日)	
			1000倍散布 227, 252 L/10 a			圃場C: 1.23/0.010(\$7)	
	2	33倍常温煙霧 10 L/10 a	4	1, 3, 7		圃場D: 1.42/0.012(\$7)	
						圃場C: 0.305/-	
	3	46.0% FU くん煙顆粒剤	4	1, 3, 7		圃場D: 0.270/- (4回, 3日)	
						圃場A: 0.272/-	
	2	28.0% FU	4	1, 3, 7		圃場B: 0.287/-	
圃場C: 0.340/-							
2	0.03% AE	原液噴霧 13.3~32.2 g/株	4	1, 3, 7	圃場A: 0.945/- (4回, 1日) (#)		
		原液噴霧 60 L/10 a			圃場B: 0.818/- (4回, 1日) (#)		
					圃場A: 0.023/- (4回, 1日) (#)		
					圃場B: 0.068/- (4回, 1日) (#)		

クロロタロニルの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等	
		剤型	使用量・使用方法	回数			経過日数
きゅうり (果実)	2	82.5% WP	1500倍散布 200 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:0.820/- (#) 圃場B:1.950/- (#)	
	2	75.0% WP	600倍散布 250 L/10 a	4, 5	1, 3, 7	圃場A:1.384/- (4回, 1日) (#) 圃場B:1.002/- (5回, 1日) (#)	
			600倍散布 100~277 L/10 a				
	2		600倍散布 111~200 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:0.385/- (4回, 1日) (#)	
			600倍散布 200 L/10 a	4	1, 3, 6	圃場A:1.467/- (4回, 3日) (#)	
	1		600倍散布 200 L/10 a	5, 7	1, 3, 7	圃場A:2.350/- (7回, 1日) (#)	
	1		600倍散布 100~200 L/10 a	7	1, 3, 7	圃場A:0.318/- (7回, 1日) (#)	
	1		600倍散布 225~313 L/10 a	4, 10	1, 3, 7	圃場A:0.410/- (10回, 1日) (#)	
	1		蒸散処理 334 g/10 a	5	1, 3, 7	圃場A:0.152/- (5回, 1日) (#)	
	2	40.0% SC	1000倍散布 300 L/10 a	3	1, 7	圃場A:0.310/- 圃場B:0.540/-	
			1000倍散布 250 L/10 a				
	5		1000倍散布 200 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:0.293/- 圃場B:0.245/- 圃場C:0.210/- 圃場D:0.054/- 圃場E:0.247/-	
	2		1000倍散布 120~280 L/10 a	8	1, 3, 7	圃場A:0.725/- 圃場B:0.855/-	
			1000倍散布 125~260 L/10 a				
	4		1000倍散布 109~241 L/10 a	12	1	圃場A:0.655/- 圃場B:0.450/- 圃場C:0.680/- 圃場D:0.555/-	
			1000倍散布 103~278 L/10 a				
			1000倍散布 120~280 L/10 a				
			1000倍散布 104~278 L/10 a				
	2		1000倍灌注 3 L/m ² +散布 200 L/10 a	2+2	1, 3, 7	圃場A:0.222/- 圃場B:0.688/-	
	2		1000倍灌注 3 L/m ² +散布 150~250 L/10 a	2+8	1, 3, 7	圃場A:0.488/-	
			1000倍灌注 3 L/m ² +散布 200 L/10 a			1, 5, 10	圃場B:0.480/-
	2	1000倍灌注 3 L/m ² +散布 160, 220, 279 L/10 a	2+12	1, 3, 7	圃場A:0.350/-		
		1000倍灌注 3 L/m ² +散布 224 L/10 a			1, 3, 7	圃場B:0.985/-	
2	1000倍灌注 3 L/m ²	2	25	圃場A:<0.01/-			
			21	圃場B:<0.01/-			
2	33倍常温煙霧 10 L/10 a	8	1, 3, 7	圃場A:0.215/- 圃場B:0.175/-			

クロロタロニルの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等			
		剤型	使用量・使用方法	回数			経過日数		
きゅうり (果実)	2	40.0% SC +82.5% WP	1000倍灌注 3 L/m ² +1250倍散布 227 L/10 a	2+4	1, 3, 7	圃場A:0.445/- (#)			
			1000倍灌注 3 L/m ² +1250倍散布 200 L/10 a			圃場B:0.782/- (#)			
	2		1000倍灌注 3 L/m ² +1250倍散布 150~250 L/10 a	2+8	1, 3, 7	圃場A:0.655/- (#)			
			1000倍灌注 3 L/m ² +1250倍散布 200 L/10 a			圃場B:0.598/- (#)			
	2	40.0% SC +4.0% DP	1000倍灌注 3 L/m ² +散布 4 kg/10 a	2+8	1, 3, 7	圃場A:0.448/0.008 (\$9) 圃場B:1.182/0.022 (\$9)	◎		
	3	46.0% FU くん煙顆粒剤	くん煙 0.2 g/m ³	4	1, 3, 7	圃場A:<0.010/- 圃場B:0.068/- 圃場C:0.328/-			
	1	40.0% FU	くん煙 0.35 g/m ³	10	1, 3, 7	圃場A:1.213/- (10回, 1日) (#)			
	くん煙 0.375 g/m ³		13	1, 3, 7	圃場A:0.265/- (13回, 3日) (#)				
	1	28.0% FU	くん煙 0.5 g/m ³	5, 10	1, 3, 7	圃場A:0.551/- (10回, 1日) (#)			
	1	40.0% SC +28.0% FU	1000倍灌注 3 L/m ² +くん煙 0.4 g/m ³	2+6	1, 3, 7	圃場A:0.760/- (8回, 1日) (#)			
	2			2+8	1, 3, 7	圃場B:0.068/- (10回, 1日) (#) 圃場C:0.428/- (10回, 1日) (#)			
	2	30.0% FD	500 g/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:0.479/- (4回, 7日) (#) 圃場B:0.258/- (7回, 1日) (#)			
	2	0.03% AE	原液噴霧 23.9~30.2 g/株 原液噴霧 60 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.016/- 圃場B:0.020/-			
	2		原液噴霧 40 L/10 a 原液噴霧 20 L/10 a			3	1, 7	圃場A:0.02/- 圃場B:0.01/-	
	かぼちゃ (果実)	2	82.5% WP	1250倍散布 250 L/10 a	3			7, 14, 21	圃場A:1.770/- (#)
1250倍散布 200 L/10 a				圃場B:0.100/- (#)					
2		75.0% WP	600倍散布 200 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:0.705/- (#) 圃場B:0.585/- (#)			
5		40.0% SC	1000倍散布 250 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:1.172/- (3回, 14日) 圃場B:0.292/- (3回, 14日) 圃場C:0.340/- (3回, 21日) 圃場D:0.020/- 圃場E:0.965/-			
			700倍散布 288 L/10 a			5	3, 7, 14	圃場A:2.660/0.062 (\$10) (5回, 3日) (#)	◎
			700倍散布 299 L/10 a					圃場B:1.030/0.024 (\$10) (5回, 3日) (#)	
3			700倍散布 250 L/10 a		3, 6, 14	圃場C:0.445/0.010 (\$10) (5回, 6日) (#)			
ズッキーニ (果実)	2	40.0% SC	1000倍散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.255/- 圃場B:0.205/-			

クロロタロニルの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
すいか (果肉(果皮を除く))	2	75.0% WP	600倍散布 200 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A:0.014/- (5回, 7日) (#) 圃場B:<0.012(\$)/-(#)	
	2	40.0% SC	700倍散布 200 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A:<0.005/- 圃場B:<0.010/-	
	2		600倍散布 200 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A:<0.010/- 圃場B:<0.010/-	
	3		700倍散布 200~283 L/10 a	5	3, 7, 14	圃場C:0.01/- (5回, 7日)	
		700倍散布 221~279 L/10 a	圃場D:0.03/-				
		700倍散布 252 L/10 a	圃場E:0.01/-				
2	30.0% FD	500 g/10 a	5	1, 3, 7	圃場A:0.012/- (5回, 3日) (#) 圃場B:0.034/- (5回, 7日) (#)		
すいか (果実)	3	40.0% SC	700倍散布 200~283 L/10 a	5	3, 7, 14	圃場C:0.48/0.011(\$10)	◎
			700倍散布 221~279 L/10 a			圃場D:1.31/0.030(\$10) (5回, 7日)	
			700倍散布 252 L/10 a			圃場E:0.59/0.014(\$10) (5回, 7日)	
メロン (果肉)	2	82.5% WP	1250倍散布 200 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A:<0.01/- (5回, 3日) (#) 圃場B:<0.01/- (5回, 3日) (#)	
	2	75.0% WP	600倍散布 200 L/10 a	7, 10	1, 3, 7	圃場A:0.049/- (10回, 3日) (#)	
			600倍散布 200 L/10 a	7, 11	1, 3, 7	圃場B:0.206/- (11回, 3日) (#)	
	5	40.0% SC	700倍散布 250 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A:<0.01/-	
			700倍散布 208 L/10 a			圃場B:<0.01/-	
			700倍散布 200 L/10 a			圃場C:<0.005/-	
			700倍散布 300 L/10 a			圃場D:<0.005/-	
			700倍散布 200 L/10 a			圃場E:<0.005/-	
	3	700倍散布 202~283 L/10 a	5	3, 7, 14	圃場F:<0.01/<0.0002(\$10)		
					700倍散布 280 L/10 a	圃場G:<0.01/<<0.0002(\$10)	
700倍散布 278 L/10 a					圃場H:<0.01/<0.0002(\$10)		
2	40.0% FU	くん煙 0.1 g/m ³	6, 10	1, 3, 7	圃場A:0.002/- (10回, 7日) (#)		
			6, 10		圃場B:0.002/- (10回, 1日) (#)		
メロン (果実)	3	40.0% SC	700倍散布 202~283 L/10 a	5	3, 7, 14	圃場F:2.74/0.064(\$10) (5回, 7日)	◎
			700倍散布 280 L/10 a			圃場G:3.62/0.084(\$10)	
			700倍散布 278 L/10 a			圃場H:1.64/0.038(\$10)	
まくわうり (果肉) (茎を除去したもの)	1	50.0% WG	1000倍散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.01/0.0002(\$9)	
						圃場B:<0.01/0.0002(\$9)	
まくわうり (果実) (果皮を含む)	1	50.0% WG	1000倍散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.895/0.0165(\$9)	◎
						圃場B:0.375/0.0069(\$9)	

クロロタロニルの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数		
にがうり (果実)	2	40.0% SC	1000倍散布 150~300 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:0.28/- (4回, 3日)
			1000倍散布 300 L/10 a			圃場B:1.20/- (4回, 3日)
ゆうがお (果実)	2	40.0% SC	1000倍散布 150 L/10 a	3, 5	1, 3, 7	圃場A:0.0033/- (3回, 1日) 圃場B:0.0032/- (5回, 1日)
オクラ (果実)	2	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場5:2.38/-
			1000倍散布 159~251 L/10 a			圃場5:2.97/-
しょうが (根茎)	2	75.0% WP	500倍散布 200 L/10 a	2, 3	30, 45, 60	圃場A:0.762/- (3回, 60日) (#)
					30, 45	圃場B:0.130/- (2回, 30日) (#)
	4	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	5	14, 21, 28	圃場A:<0.005/<0.0003(\$2)
					7, 14, 21	圃場A:<0.005/<0.0003(\$2) 圃場B:<0.005/<0.0003(\$2)
うど (軟化茎葉)	2	40.0% SC	1000倍散布 150 L/10 a	3	214	圃場A:<0.002/- 圃場B:<0.002/-
	2	32.0% SC	800倍 伏せ込み時 根株瞬間浸漬	1	25, 30, 35	圃場A:0.010/- (1回, 25日) 圃場B:0.055/- (1回, 25日)
やまのいも (むかご)	2	40.0% SC	1000倍散布 300 L/10 a	6	14, 28, 42	圃場A:0.120/0.0080(\$2) (6回, 42日) (#) 圃場B:0.240/0.0161(\$2) (6回, 42日) (#)
りんご (果実)	2	82.5% WP	1000倍散布 667 L/10 a	3	30, 45, 60	圃場A:0.535/- (3回, 45日) (#)
			1000倍散布 625 L/10 a			圃場B:0.075/- (3回, 45日) (#)
	2	75.0% WP	500倍散布 300 L/10 a	2	128	圃場A:<0.007(\$)/- (#)
			500倍散布 400 L/10 a		158	圃場B:0.042/- (#)
	2		500倍散布 500 L/10 a	5, 7	9, 15, 29	圃場A:1.797/- (7回, 29日) (#)
			500倍散布 300 L/10 a		7, 14, 28	圃場B:0.643/- (7回, 28日) (#)
	2	72.0% WG	1000倍散布 500 L/10 a	3	30, 45, 60	圃場A:0.030/<0.01(\$11) 圃場B:0.732/<0.01(\$11)
	2	40.0% SC	1000倍散布 700 L/10 a	3	14, 30, 45, 60	圃場A:0.500/-
1000倍散布 500 L/10 a			14, 29, 45, 60		圃場B:0.190/-	
日本なし (果実)	2	53.0% SC	1000倍散布 400 L/10 a	3	20, 29, 44	圃場A:0.065/- (3回, 44日)
	21, 30, 45	圃場B:0.018/- (3回, 45日)				
2	40.0% SC	1000倍散布 400 L/10 a	3	21, 30, 45, 60	圃場A:0.007/<0.01(\$11)	
					圃場B:0.046/<0.01(\$11)	
西洋なし (果実)	2	72.0% WG	1000倍散布 330~660 L/10 a	3	21, 30, 40	圃場A:0.708/<0.01(\$11)
			1000倍散布 500 L/10 a			圃場B:0.805/<0.01(\$11) (3回, 40日)
	2	53.0% SC	1000倍散布 400 L/10 a	3	23, 31, 40	圃場A:0.272/- (3回, 31日) (#)
					21, 30, 39	圃場B:0.240/- (3回, 30日) (#)
マルメロ (果実)	2	40.0% SC	1000倍散布 250 L/10 a	4	30, 45, 59	圃場A:0.015/<0.01(\$11)
			1000倍散布 300 L/10 a			圃場B:0.188/<0.01(\$11)

クロロタロニルの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等	
		剤型	使用量・使用方法	回数			経過日数
もも (果肉)	3	75.0% WP	600倍散布 400 L/10 a	5, 7	1, 3, 7	圃場A:0.352/- (7回, 1日) (#)	
			600倍散布 800 L/10 a	7		圃場B:0.195/- (7回, 3日) (#)	
			600倍散布 300 L/10 a			圃場C:0.442/- (7回, 3日) (#)	
	3	72.0% WG	1000倍散布 417 L/10 a	6	1, 3, 7	圃場A:0.03/<0.01 (\$11) (6回, 3日)	
			1000倍散布 438,500 L/10 a			圃場B:0.03/<0.01 (\$11)	
			1000倍散布 476 L/10 a			圃場C:0.02/<0.01 (\$11) (6回, 3日)	
	4	40.0% SC	1000倍散布 500 L/10 a	6	1, 7, 14	圃場A:<0.01/-	
			1000倍散布 500 L/10 a			圃場B:0.03/-	
			1000倍散布 500 L/10 a		1, 3, 7	圃場C:0.005/-	
			1000倍散布 400 L/10 a			圃場D:0.005/-	
	もも (果皮)	3	75.0% WP	600倍散布 400 L/10 a	5, 7	1, 3, 7	圃場A:187/- (7回, 1日) (#)
				600倍散布 800 L/10 a	7		圃場B:77/- (7回, 1日) (#)
600倍散布 300 L/10 a				圃場C:181/- (7回, 3日) (#)			
4		40.0% SC	1000倍散布 500 L/10 a	6	1, 7, 14	圃場A:8.86/-	
			1000倍散布 500 L/10 a			圃場B:36.0/- (6回, 7日)	
			1000倍散布 500 L/10 a		1, 3, 7	圃場C:8.80/-	
			1000倍散布 400 L/10 a			圃場D:18.2/- (6回, 3日)	
もも (果実) (種子及び果皮を 含む)		3	72.0% WG	1000倍散布 417 L/10 a	6	1, 3, 7	圃場A:4.71/<0.01 (\$11) 注2) (6回, 3日)
	1000倍散布 438,500 L/10 a			圃場B:6.10/<0.01 (\$11) 注2)			
	1000倍散布 476 L/10 a			圃場C:1.96/<0.01 (\$11) 注2) (6回, 3日)			
ネクタリン (果実)	2	40.0% SC	1000倍散布 500 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A:1.80/-	
			1000倍散布 400 L/10 a			圃場B:2.47/-	
			1000倍散布 400 L/10 a	3		圃場B:4.81/- (#)	
すもも (果実)	3	40.0% SC	1000倍散布 300 L/10 a	1	45, 59	圃場A:<0.01/- (1回, 45日)	
			1000倍散布 700 L/10 a			圃場B:<0.01/- (1回, 45日)	
			1000倍散布 300 L/10 a	2		14, 21, 28	圃場A:0.620/<0.01 (\$11)
			1000倍散布 700 L/10 a				圃場B:0.040/<0.01 (\$11)
			1000倍散布 600 L/10 a				圃場C:0.170/<0.01 (\$11) (2回, 21日)

クロロタロニルの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1 【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数		
おうとう (果実)	2	53.0% SC	250倍散布 204 L/10 a	3	97	圃場A:<0.01/- (#)
			250倍散布 420 L/10 a		94	圃場B:<0.01/- (#)
	2	40.0% SC	1000倍散布 425 L/10 a	2	28, 35, 42, 49	圃場A:<0.01/- (2回, 49日) (#)
			1000倍散布 491 L/10 a			圃場B:<0.01/- (2回, 49日) (#)
ぶどう (果実)	1	72.0% WG	250倍散布 150 L/10 a	1	164	圃場A:<0.01/-
	1	53.0% SC	250倍散布 100 L/10 a	1	147	圃場A:<0.01/- (#)
	2	32.0% SC	1500倍散布 400 L/10 a	2	30	圃場A:2.508/- (#) 圃場B:0.772/- (#)
			1500倍散布 400 L/10 a	3	45, 60	圃場A:0.128/- (#) 圃場B:0.167/- (#)
かき (果実)	2	53.0% SC	1500倍散布 420 L/10 a	2	44	圃場A:0.092/- (#)
			1500倍散布 400 L/10 a		45	圃場B:0.092/- (#)
	3	53.0% SC	1500倍散布 420 L/10 a	3	30, 44, 62	圃場A:0.388/<0.01 (\$11) (#)
			1500倍散布 400 L/10 a		30, 45, 60	圃場B:0.235/<0.01 (\$11) (#)
キウイフルーツ (果肉)	2	40.0% SC	500倍散布 500 L/10 a	5	115	圃場A:0.008/-
	108				圃場B:0.008/-	
	3			7	56	圃場A:0.014/- (#)
					48	圃場B:0.023/- (#)
					60, 62, 66	圃場C:0.050/0.0007 (\$12) (7回, 66日) 圃場D:0.070/0.0010 (\$12) 圃場E:0.130/0.0019 (\$12)
キウイフルーツ (果皮)	2	40.0% SC	500倍散布 500 L/10 a	5	115	圃場A:22.2/-
					108	圃場B:36.1/-
	7			56	圃場A:33.9/- (#)	
				48	圃場B:73.2/- (#)	
キウイフルーツ (果実)	3	40.0% SC	500倍散布 352 L/10 a	7	60, 62, 66	圃場C:12.4/0.185 (\$12)
			500倍散布 357~373 L/10 a			圃場D:18.2/0.272 (\$12)
			500倍散布 350 L/10 a			圃場E:15.7/0.234 (\$12)
パパイヤ (果実)	2	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A:2.01/- (5回, 7日)
					1, 7, 14	圃場B:1.35/-
パッションフルー ツ (果実)	2	40.0% SC	1000倍散布 300 L/10 a	3	14, 30, 45	圃場A:0.440/0.007 (\$12)
					13, 26, 45	圃場A:0.540/0.008 (\$12) (3回, 13日)

クロロタロニルの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等	
		剤型	使用量・使用方法	回数			経過日数
いちじく (果実)	4	32.0% SC	1500倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:0.240/<0.01(\$11) (2回, 7日) (#)	◎
						圃場B:0.520/<0.01(\$11) (#)	
						圃場C:0.600/<0.01(\$11) (#)	
						圃場D:0.232/<0.01(\$11) (#)	
				3	1, 3, 7	圃場A:0.198/- (3回, 7日) (#)	
						圃場B:0.245/- (3回, 7日) (#)	
茶 (荒茶(製茶))	2	82.5% WP	1000倍散布 200 L/10 a 寒冷紗被覆11, 10日間一番茶	1	6, 10, 14	圃場A:4.80/- (#)	○
			750倍散布 200 L/10 a 寒冷紗被覆10日間一番茶	1	7, 10, 14	圃場B:3.36/- (#)	
	2	75.0% WP	600倍散布 200 L/10 a 簡易被覆一番茶	1, 2	7, 14, 21	圃場A:2.70/- (2回, 14日) (#)	
				3	7	圃場B:4.23/- (2回, 14日) (#)	
	2		500倍散布 200 L/10 a 無被覆一番茶	1	7, 14, 21	圃場A:0.123/- (1回, 14日) (#)	
				3, 4	7, 14	圃場B:1.33/- (4回, 7日) (#)	
	4	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a 寒冷紗被覆10日間一番茶	1	10, 14, 21, 28	圃場A:0.74/0.132(\$13)	
			700倍散布 200 L/10 a 寒冷紗被覆10日間施設一番茶	1	10, 14, 21, 28	圃場B:3.37/0.603(\$13)	
			700倍散布 200 L/10 a 簡易トンネル不被覆一番茶			圃場C:2.66/0.475(\$13) (1回, 14日)	
			圃場D:3.21/0.575(\$13)				
	3	1000倍散布 200 L/10 a 簡易被覆	2	7, 14	圃場A:2.41/- (2回, 14日) (#)		
					圃場B:0.88/- (2回, 14日) (#)		
2			700倍散布 200 L/10 a 簡易被覆		圃場A:7.14/- (2回, 14日) (#)		
			圃場B:3.51/- (2回, 14日) (#)				
2	1000倍散布 200 L/10 a 無被覆	2	7, 14	圃場A:4.23/- (2回, 14日) (#)			
	圃場C:4.04/- (2回, 14日) (#)						
700倍散布 200 L/10 a 無被覆	圃場A:3.83/- (2回, 14日) (#)						
圃場C:4.44/- (2回, 14日) (#)							

クロロタロニルの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等		
		剤型	使用量・使用方法	回数			経過日数	
茶 (浸出液)	2	82.5% WP	1000倍散布 200 L/10 a 寒冷紗被覆11,10日間一番茶	1	6, 10, 14	圃場A:0.10/- (#)		
			750倍散布 200 L/10 a 寒冷紗被覆10日間一番茶	1	7, 10, 14	圃場B:0.04/- (#)		
	2	75.0% WP	600倍散布 200 L/10 a 簡易被覆一番茶	1, 2	7, 14, 21	圃場A:0.061/- (2回, 14日) (#)		
				3	7	圃場B:0.042/- (2回, 14日) (#)		
	2	75.0% WP	500倍散布 200 L/10 a 無被覆一番茶	1	7, 14, 21	圃場A:0.005/- (#)		
	2			3, 4	7	圃場B:0.019/- (4回, 7日) (#)		
	2	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a 寒冷紗被覆10日間一番茶	1	10, 14, 21, 28	圃場A:0.013/0.0024(\$13) 注3)		
	2			700倍散布 200 L/10 a 寒冷紗被覆10日間施設一番茶	1	10, 14, 21, 28	圃場B:0.061/0.0110(\$13) 注3)	△
				700倍散布 200 L/10 a 簡易トンネル不被覆一番茶			圃場C:0.048/0.0088(\$13) (1回, 14日) 注3)	
	3	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a 簡易被覆	2	7, 14	圃場A:0.195/- (2回, 14日) (#)		
						圃場B:0.060/- (2回, 14日) (#)		
			700倍散布 200 L/10 a 簡易被覆	2	7, 14	圃場A:0.405/- (2回, 14日) (#)		
圃場B:0.215/- (2回, 14日) (#)								
1000倍散布 200 L/10 a 無被覆	2	7, 14	圃場A:0.372/- (2回, 14日) (#)					
			圃場C:0.265/- (2回, 14日) (#)					
700倍散布 200 L/10 a 無被覆	2	7, 14	圃場A:0.268/- (2回, 14日) (#)					
			圃場C:0.240/- (2回, 14日) (#)					
しそ (葉)	2	40.0% SC	1000倍株元散布 150 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:0.035/- 圃場B:<0.030(\$)/-		

クロロタロニルの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数		
みょうが (花徳)	2	40.0% SC	1000倍散布 150, 300 L/10 a	4	14	圃場A:0.004/-
			1000倍散布 150~300 L/10 a			圃場B:0.004/-

WP：水和剤
WG：顆粒水和剤
SC：フロアブル
DP：粉剤
AE：エアロゾル、エアゾル
FU：くん煙剤、くん煙顆粒剤
FD：フローダスト
-：分析せず

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。

(§)同一圃場から採取された1つのサンプルを2つの分析機関に分けて測定されており、結果を平均値として示したため、実際の定量限界とは異なる。

基準値の設定の根拠に○、暴露評価に使用されているものに△、基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験(いわゆる最大使用条件下の作物残留試験)を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について()内に記載した。

注2) 各圃場試験の分析における果実(果皮を含む)と種子の重量比から種子を含む残留濃度を算出した。

注3) 82.5% WPの荒茶及び浸出液の作物残留試験成績から算出された浸出率0.0182を用いて浸出液における残留濃度を算出した。

(§1) 米国とうもろこし(1.2 kg ai/ha、3回散布、PHI=35~61(JMPR 2010))から換算係数1.00とした。

(§2) JMPR 2015 Root & tuber veg. group except horseradish 親: STMR=0.3、代謝物I: STMR=0.02から換算係数0.067とした。

(§3) レタスの代謝試験(SC 1.75 kg ai/ha、4又は5日間隔で4回茎葉散布処理したPHI=14の葉)から係数0.019とした。

(§4) セロリの代謝試験(SC 2.5 kg ai/ha、6~8日間隔 12回散布処理したPHI=7及び21の茎部)において代謝物Iはすべて定量限界以下であることから代謝物Iは<0.01とした。

(§5) 米国たまねぎ(2.5 kg ai/ha、3回散布、PHI=48~49(JMPR 2015))から換算係数0.026とした。

(§6) 米国青ねぎ(細ねぎ)(green onions)(1.5 kg ai/ha、3回散布、PHI=14(JMPR 2015))から換算係数0.040とした。

(§7) EUミニトマト(1.0 kg ai/ha、2回散布、PHI=1(JMPR 2015))から換算係数0.0083とした。

(§8) ブラジルピーマン(1.0 kg ai/ha、3回散布、PHI=1(JMPR 2015))から換算係数0.0167とした。

(§9) トマトの代謝試験(SC 2.3 kg ai/ha、7日間隔、3回茎葉散布処理したPHI=1の果実)から係数0.0184とした。

(§10) トマトの代謝試験(SC 2.3 kg ai/ha、7日間隔、3回茎葉散布処理したPHI=7の果実)から係数0.0233とした。

(§11) JMPR 2015において代謝物Iはもも、ネクタリン及びびおうとうにおける散布処理において残留濃度のSTMRは定量限界以下であること、さらにりんごの代謝試験において塗布した¹⁴C-クロロタロニルは、ほとんどが未変化(未代謝)のまま洗浄液に検出されたことから、代謝物Iの残留はLQ(<0.01)とした。

(§12) フランスぶどう(1.0 kg ai/ha、10回散布、PHI=10(JMPR 2010))から換算係数0.0149とした。

(§13) トマトの代謝試験(SC 2.3 kg ai/ha、7日間隔、3回散布処理したPHI=14の葉)から係数0.179とした。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
米(玄米をいう。)	0.05	0.1	○			<0.005, <0.01 (¥)
小麦	0.01	0.1	○			<0.01, <0.01(小麦), <0.004 (大麦) (小麦参照) (小麦参照)
大麦	0.01	0.1	○			
ライ麦	0.01	0.1	○			
とうもろこし		0.01				
そば		0.01				
その他の穀類	0.01	0.1	○			(小麦参照)
大豆	1	0.2	○	1		
小豆類	1	0.2	○	1		
えんどう	1	0.2		1		
そら豆	1	0.2		1		
らっかせい	0.1	0.05	○	0.1		
その他の豆類	1	0.2		1		
ばれいしょ	0.3	0.2	○	0.3		
さといも類(やつがしらを含む。)	0.3	0.2		0.3		
かんしょ	0.3	0.2		0.3		
やまいも(長いもをいう。)	0.3	0.01	○	0.3		
こんにやくいも	0.3	0.2		0.3		
その他のいも類	0.3	0.2		0.3		
てんさい	0.3	0.2	○	0.3		
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.3	0.1	○	0.3		
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	2	2	○			0.108, 0.810 (¥)
かぶ類の根	0.3	0.02	○	0.3		
かぶ類の葉	0.05	0.05	○			0.002, <0.01 (¥)
西洋わさび	1	4		1		
クレソン		4				
はくさい	2	2	○			0.295, 0.518 (#) (¥)
キャベツ	2	2	○			0.010, 0.562 (¥)
芽キャベツ	6	5		6		
ケール		4				
こまつな		4				
きょうな	0.03	4	○			0.002, 0.007 (¥)(みずな)
チンゲンサイ		2				
カリフラワー	5	1	○	5		
ブロッコリー	5	5	○	5		
その他のあぶらな科野菜	5	2	○	5		
ごぼう	0.3	4	○	0.3		
サルシフィー	0.3	4		0.3		
アーティチョーク		4				
チコリ		4				
エンダイブ		4				
しゅんぎく		6				
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	0.7	1	○			0.008, <0.01, 0.242
その他のきく科野菜	1	2	○	0.3		0.285, 0.370(ふき)(¥)
たまねぎ	2	0.5	○	1.5		
ねぎ(リーキを含む。)	10	5	○	40		※1
にんにく	0.04	10	○			<0.005~0.022(n=5)(#)※2
にら		2				
アスパラガス	5	2	○・申	0.01		1.195, 1.890(¥)
わけぎ	3	5	○	1.5		0.71, 1.21 (¥)
その他のゆり科野菜	10	2	○	10		
にんじん	0.4	1	○	0.3		0.015~0.163(n=5)※3
パースニップ		1				

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
パセリ		3				
セロリ	20	10	○	20		
みつば	0.01	0.05	○			<0.002, 0.005 (#)(¥) ※4
その他のせり科野菜	0.5	0.5	○	0.3		0.020, 0.175 (¥)(あしたば)
トマト	9	5	○・申	5		2.18, 3.10, 3.55(ミニトマト)
ピーマン	10	7	○・申	7		2.12~4.60 (n=4)
なす	3	2	○			0.445~1.42 (n=4)
その他のなす科野菜	7	2		7		
きゅうり(ガーキンを含む。)	3	5	○	3		0.448, 1.182 (¥)
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	7	5	○・申	3		0.44, 1.03, 2.66(#)(かぼちゃ)、 0.48, 0.59, 1.31(すいか(果 実))、1.64, 2.74, 3.62(メロン (果実))
しろりり	2	5	○	2		
すいか		5	○			
すいか(果皮を含む。)	7		○・申			(かぼちゃ(スカッシュを含む。) 参照)
メロン類果実		2	○			
メロン類果実(果皮を含む。)	7		○・申	2		(かぼちゃ(スカッシュを含む。) 参照)
まくわうり		5	○			
まくわうり(果皮を含む。)	2		○・申	2		0.375, 0.895 (¥)
その他のうり科野菜	7	5	○・申	2		(かぼちゃ(スカッシュを含む。) 参照)
ほうれんそう		4				
たけのこ		2				
オクラ	7	6	○	7		
しょうが	0.01	0.05	○			<0.005 (n=4)
未成熟えんどう		2				
未成熟いんげん		5				
えだまめ		2				
マッシュルーム		1				
しいたけ		5				
その他のきのこ類		5				
その他の野菜	0.7	2	○	50		0.120, 0.240 (#)(¥)(やまのいも (むかご)) ※5
みかん		0.01				
なつみかんの果実全体		0.01				
レモン		0.01				
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)		0.01				
グレープフルーツ		0.01				
ライム		0.01				
その他のかんきつ類果実		0.01				
りんご	2	2	○			0.030, 0.732 (¥)
日本なし	0.2	0.5	○			0.007, 0.046 (¥)
西洋なし	2	2	○			0.708, 0.805 (¥)
マルメロ	0.5	1	○			0.015, 0.188 (¥)
びわ		1				
もも		2	○			
もも(果皮及び種子を含む。)	15		○	1.5		1.96, 4.71, 6.10 (もも参照)
ネクタリン	15	25	○・申	1.5		
あんず(アプリコットを含む。)	2	25		1.5		
すもも(プルーンを含む。)	1	25	○			0.040, 0.170, 0.620
うめ	2	5		1.5		
おうとう(チェリーを含む。)	3	0.5	○	3		

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
いちご	5	8		5		
ラズベリー		10				
ブラックベリー		10				
ブルーベリー		1				
クランベリー	15	5		15		
ハuckleベリー		7				
その他のベリー類果実	20	10		20		
ぶどう	3	0.5	○	3		
かき	2	1	○			0.319, 0.526 (#)(¥) ※6
バナナ	15	0.2		15		
キウイ		0.2	○			
キウイ(果皮を含む。)	50		○			12.4, 15.7, 18.2
パパイヤ	20	15	○	20		
アボカド		0.01				
パイナップル		0.01				
グアバ		0.01				
マンゴー		0.5				
パッションフルーツ	2	3	○			0.44, 0.54(¥)
なつめやし		0.1				
その他の果実	1	5	○			0.232~0.600 (#)(n=4) (いちじく)
ひまわりの種子		0.01				
ごまの種子		0.01				
べにばなの種子		0.01				
綿実		0.01				
なたね		0.01				
その他のオイルシード		0.01				
ぎんなん		0.01				
くり		0.01				
ペカン		0.01				
アーモンド		0.05				
くるみ		0.01				
その他のナッツ類	0.3	0.1		0.3		
茶	10	10	○			1.05~4.81(n=4)(荒茶)※7
コーヒー豆		0.2				
カカオ豆		0.05				
ホップ		0.1				
その他のスパイス	0.3	5		0.3		
その他のハーブ	7	2	○	7		
牛の筋肉	0.02	0.02		0.02		
豚の筋肉	0.02	0.02		0.02		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.02	0.02		0.02		
牛の脂肪	0.07	0.1		0.07		
豚の脂肪	0.07	0.06		0.07		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.07	0.1		0.07		
牛の肝臓	0.2	0.03		0.2		
豚の肝臓	0.2	0.03		0.2		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.2	0.03		0.2		
牛の腎臓	0.2	0.3		0.2		
豚の腎臓	0.2	0.3		0.2		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.2	0.3		0.2		

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
牛の食用部分	0.2	0.03		0.2		
豚の食用部分	0.2	0.03		0.2		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.2	0.03		0.2		
乳	0.07	0.06		0.07		
鶏の筋肉	0.01	0.01		0.01		
その他の家きんの筋肉	0.01	0.01		0.01		
鶏の脂肪	0.01	0.01		0.01		
その他の家きんの脂肪	0.01	0.01		0.01		
鶏の肝臓	0.07	0.01		0.07		
その他の家きんの肝臓	0.07	0.01		0.07		
鶏の腎臓	0.07	0.01		0.07		
その他の家きんの腎臓	0.07	0.01		0.07		
鶏の食用部分	0.07	0.01		0.07		
その他の家きんの食用部分	0.07	0.01		0.07		
鶏の卵		0.01				
その他の家きんの卵		0.01				
はちみつ	0.05					※8
とうがらし(乾燥させたもの)				70		※9

網掛け: ポジティブリスト制度導入時に海外の基準値等を参照し暫定的に設定した基準値(暫定基準)

太枠: 本基準(暫定基準以外の基準)を見直した基準値

斜線: 食品区分を別途新設すること等に伴い、削除した食品区分、もしくは加工食品につき基準値を設定しないもの

○: 既に、国内において登録等がされているもの

申: 農薬の登録申請等に伴い基準値設定依頼がなされたもの

(#): 適用の範囲内で試験が行われていない作物残留試験成績

(¥): 基準値設定の根拠とした作物残留試験成績(最大値)

農産物についてはクロロタロニルの濃度で、畜産物については代謝物 I の濃度でそれぞれ示している。

※1) リーキについては国際基準が設定されているが、国際基準の設定根拠となった作物残留試験の中央値(STMR)を用いて推計した暴露量が、食品安全委員会が設定したADIを超えることから、ねぎの国際基準から基準値を設定する。

※2) にんにくについては、プロポーシヨナリティ(propportionality)の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した。なお、GAPに適合した使用量として、にんにくは82.5% WP 2000倍散布を基に換算した。

※3) にんじんについては、プロポーシヨナリティ(propportionality)の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した。なお、GAPに適合した使用量として、にんじんは53.0% SC 750倍散布を基に換算した。

※4) 「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和6年6月25日 食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会)の別添5「残留性が極めて低い農薬の基準値設定の考え方について」に基づき設定。

※5) チャードについては国際基準が設定されているが、国際基準の設定根拠となった作物残留試験の中央値(STMR)を用いて推計した暴露量が、食品安全委員会が設定したADIを超えることから、やまのいも(むかご)から基準値を設定する。

※6) かきについては、プロポーシヨナリティ(propportionality)の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した。なお、GAPに適合した使用量として、かきは72.0% WP 1500倍散布を基に換算した。

※7) 茶については、プロポーシヨナリティ(propportionality)の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した。なお、GAPに適合した使用量として、茶は40.0% SC 700倍散布を基に換算した。

※8) 「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和6年6月25日 農薬・動物用医薬品部会)の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。

※9) 加工食品である「とうがらし(乾燥させたもの)」について、国際基準が設定されているが、加工係数を用いて原材料中の濃度に換算した値が当該原材料の基準値案を超えないことから、基準値を設定しないこととする。なお、本物質について、JMPRIはとうがらしの加工係数を10と算出している。

クロロタロニルの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼児 (1~6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
米 (玄米をいう。)	0.05	0.0075	1.2	0.6	0.8	1.4
小麦	0.01	0.01	0.6	0.4	0.7	0.5
大麦	0.01	0.01	0.1	0.0	0.1	0.0
ライ麦	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の穀類	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
大豆	1	0.19	7.4	3.9	5.9	8.8
小豆類	1	0.19	0.5	0.2	0.2	0.7
えんどう	1	0.19	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	1	0.19	0.1	0.0	0.2	0.2
らっかせい	0.1	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の豆類	1	0.19	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.3	0.3	11.5	10.2	12.6	10.5
さといも類 (やつがしらを含む。)	0.3	0.3	1.6	0.5	0.4	2.3
かんしょ	0.3	0.3	2.0	1.9	3.7	2.9
やまいも (長いもをいう。)	0.3	0.3	0.9	0.3	0.5	1.3
こんにゃくいも	0.3	0.3	0.4	0.1	0.2	0.4
その他のいも類	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.3	0.3	9.8	8.3	12.3	10.0
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	0.3	0.3	9.9	3.4	6.2	13.7
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	2	0.459	0.8	0.3	1.4	1.3
かぶ類の根	0.3	0.3	0.8	0.2	0.0	1.5
かぶ類の葉	0.05	0.006	0.0	0.0	0.0	0.0
西洋わさび	1	0.25	0.0	0.0	0.0	0.0
はくさい	2	0.406	7.2	2.1	6.7	8.8
キャベツ	2	0.286	6.9	3.3	5.4	6.8
芽キャベツ	6	1.5	0.2	0.2	0.2	0.2
きょうな	0.03	0.0045	0.0	0.0	0.0	0.0
カリフラワー	5	5	2.5	1.0	0.5	2.5
ブロッコリー	5	5	26.0	16.5	27.5	28.5
その他のあぶらな科野菜	5	5	17.0	3.0	4.0	24.0
ごぼう	0.3	0.3	1.2	0.5	1.2	1.4
サルシフィー	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	0.7	0.01	0.1	0.0	0.1	0.1
その他のきく科野菜	1	0.328	0.5	0.0	0.2	0.9
たまねぎ	2	0.4	12.5	9.0	14.1	11.1
ねぎ (リーキを含む。)	10	0.835	7.8	3.1	5.7	8.9
にんにく	0.04	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
アスパラガス	5	1.543	2.6	1.1	1.5	3.9
わけぎ	3	0.956	0.2	0.1	0.1	0.2
その他のゆり科野菜	10	0.835	0.5	0.1	0.2	1.0
にんじん	0.4	0.113	2.1	1.6	2.5	2.1
セロリ	20	2.65	3.2	1.6	0.8	3.2
みつば	0.01	0.003	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のせり科野菜	0.5	0.098	0.0	0.0	0.0	0.0
トマト	9	3.10	99.5	58.9	99.2	113.5
ピーマン	10	3.12	15.0	6.9	23.7	15.3
なす	3	1.01	12.1	2.1	10.1	17.3
その他のなす科野菜	7	1.5	1.7	0.2	1.8	1.8
きゅうり (ガーキンを含む。)	3	0.815	16.9	7.8	11.6	20.9
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	7	1.305	12.1	4.8	10.3	17.0
しろり	2	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0
すいか (果皮を含む。)	7	1.305	9.9	7.2	18.8	14.7
メロン類果実 (果皮を含む。)	7	1.305	4.6	3.5	5.7	5.5
まくわうり (果皮を含む。)	2	0.635	0.1	0.1	0.1	0.3
その他のうり科野菜	7	1.305	3.5	1.6	0.8	4.4
オクラ	7	1.5	2.1	1.7	2.1	2.6
しょうが	0.01	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の野菜	0.7	0.18	2.4	1.1	1.8	2.5

クロロタロニルの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	小児 (1~6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
りんご	2	0.381	9.2	11.8	7.2	12.3
日本なし	0.2	0.027	0.2	0.1	0.2	0.2
西洋なし	2	0.756	0.5	0.2	0.1	0.4
マルメロ	0.5	0.101	0.0	0.0	0.0	0.0
もも (果皮及び種子を含む。)	15	0.03	0.1	0.1	0.2	0.1
ネクタリン	15	4.71	0.5	0.5	0.5	0.5
あんず (アブリコットを含む。)	2	0.12	0.0	0.0	0.0	0.0
すもも (プルーンを含む。)	1	0.17	0.2	0.1	0.1	0.2
うめ	2	0.12	0.2	0.0	0.1	0.2
おうとう (チェリーを含む。)	3	0.39	0.2	0.3	0.0	0.1
いちご	5	2.05	11.1	16.0	10.7	12.1
クランベリー	15	3	0.3	0.3	0.3	0.3
その他のベリー類果実	20	20	2.0	2.0	4.0	2.0
ぶどう	3	0.955	8.3	7.8	19.3	8.6
かき	2	0.423	4.2	0.7	1.6	7.7
バナナ	15	0.033	0.4	0.5	0.5	0.6
キウィー (果皮を含む。)	50	15.7	34.5	22.0	36.1	45.5
パパイヤ	20	2.3	0.5	0.7	0.2	0.2
パッションフルーツ	2	0.49	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の果実	1	0.38	0.5	0.2	0.3	0.6
その他のナッツ類	0.3	0.082	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	10	0.0534	0.4	0.1	0.2	0.5
その他のスパイス	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.1
その他のハーブ	7	0.55	0.5	0.2	0.1	0.8
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			392.0	233.2	384.2	468.4
ADI比 (%)			39.5	78.5	36.5	46.4

EDI: 推定一日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の中央値 (STMR) 等×各食品の平均摂取量

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。

もも (果皮及び種子を含む。) については、果肉における作物残留試験成績の数値を用いてEDI試算をした。

にんにく、にんじん、かき及び茶については、プロポーショナルリティ (proportionality) の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

茶については、浸出液 (茶葉当たりの残留濃度) における作物残留試験結果を用いてEDI試算をした。

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値 (案) の数値を用いた。

代謝物Iの推定摂取量 (単位: µg/人/日)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用 いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼児 (1~6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
米 (玄米をいう。)	0.05	0.0075	1.2	0.6	0.8	1.4
小麦	0.01	0.01	0.6	0.4	0.7	0.5
大麦	0.01	0.01	0.1	0.0	0.1	0.0
ライ麦	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の穀類	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
大豆	1	0.02	0.8	0.4	0.6	0.9
小豆類	1	0.02	0.0	0.0	0.0	0.1
えんどう	1	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	1	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
らっかせい	0.1	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の豆類	1	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.3	0.02	0.8	0.7	0.8	0.7
さといも類 (やつがしらを含む。)	0.3	0.02	0.1	0.0	0.0	0.2
かんしょ	0.3	0.02	0.1	0.1	0.2	0.2
やまいも (長いもをいう。)	0.3	0.02	0.1	0.0	0.0	0.1
こんにやくいも	0.3	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のいも類	0.3	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.3	0.02	0.7	0.6	0.8	0.7
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	0.3	0.02	0.7	0.2	0.4	0.9
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	2	0.031	0.1	0.0	0.1	0.1
かぶ類の根	0.3	0.02	0.1	0.0	0.0	0.1
かぶ類の葉	0.05	0.0004	0.0	0.0	0.0	0.0
西洋わさび	1	0.16	0.0	0.0	0.0	0.0
はくさい	2	0.0077	0.1	0.0	0.1	0.2
キャベツ	2	0.0054	0.1	0.1	0.1	0.1
芽キャベツ	6	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
きょうな	0.03	0.0001	0.0	0.0	0.0	0.0
カリフラワー	5	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ブロッコリー	5	0.01	0.1	0.0	0.1	0.1
その他のあぶらな科野菜	5	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ごぼう	0.3	0.02	0.1	0.0	0.1	0.1
サルシフィー	0.3	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	0.7	0.0002	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のきく科野菜	1	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
たまねぎ	2	0.02	0.6	0.5	0.7	0.6
ねぎ (リーキを含む。)	10	0.01	0.1	0.0	0.1	0.1
にんにく	0.04	0.0003	0.0	0.0	0.0	0.0
アスパラガス	5	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
わけぎ	3	0.038	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のゆり科野菜	10	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
にんじん	0.4	0.008	0.2	0.1	0.2	0.1
セロリ	20	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
みつば	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のせり科野菜	0.5	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
トマト	9	0.026	0.8	0.5	0.8	1.0
ピーマン	10	0.0521	0.3	0.1	0.4	0.3
なす	3	0.0084	0.1	0.0	0.1	0.1
その他のなす科野菜	7	0.045	0.0	0.0	0.1	0.1
きゅうり (ガーキンを含む。)	3	0.015	0.3	0.1	0.2	0.4
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	7	0.0304	0.3	0.1	0.2	0.4
しろりり	2	0.015	0.0	0.0	0.0	0.0
すいか (果皮を含む。)	7	0.0304	0.2	0.2	0.4	0.3
メロン類果実 (果皮を含む。)	7	0.0304	0.1	0.1	0.1	0.1
まくわうり (果皮を含む。)	2	0.0117	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	7	0.0304	0.1	0.0	0.0	0.1
オクラ	7	0.045	0.1	0.0	0.1	0.1
しょうが	0.01	0.0003	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の野菜	0.7	0.0121	0.2	0.1	0.1	0.2

代謝物Iの推定摂取量 (単位: µg/人/日)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用 いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1~6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
りんご	2	0.01	0.2	0.3	0.2	0.3
日本なし	0.2	0.01	0.1	0.0	0.1	0.1
西洋なし	2	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
マルメロ	0.5	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
もも (果皮及び種子を含む。)	15	0.01	0.0	0.0	0.1	0.0
ネクタリン	15	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
あんず (アブリヨットを含む。)	2	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ずもも (ブルーンを含む。)	1	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
うめ	2	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
おうとう (チェリーを含む。)	3	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
いちご	5	0.01	0.1	0.1	0.1	0.1
クランベリー	15	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のベリー類果実	20	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ぶどう	3	0.01	0.1	0.1	0.2	0.1
かき	2	0.014	0.1	0.0	0.1	0.3
バナナ	15	0.01	0.1	0.2	0.2	0.2
キウィー (果皮を含む。)	50	0.234	0.5	0.3	0.5	0.7
パパイヤ	20	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
パッションフルーツ	2	0.0073	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の果実	1	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.3	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	10	0.0096	0.1	0.0	0.0	0.1
その他のスパイス	0.3	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のハーブ	7	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
陸棲哺乳類の肉類	0.07	筋肉 0.01 脂肪 0.025	0.8	0.6	0.8	0.5
陸棲哺乳類の食用部分 (肉類除く)	0.2	0.16	0.2	0.1	0.8	0.1
陸棲哺乳類の乳類	0.07	0.05	13.2	16.6	18.2	10.8
家さんの肉類	0.07	0.039	0.8	0.6	0.9	0.6
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			25.8	24.5	31.1	24.6
ADI比 (%)			5.6	17.9	6.4	5.3

EDI: 推定一日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の中央値 (STMR) 等×各食品の平均摂取量

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。

もも (果皮及び種子を含む。) については、果肉における作物残留試験成績の数値を用いてEDI試算をした。

にんにく、にんじん、かき及び茶については、プロポーショナルリティ (proportionality) の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

茶については、浸出液 (茶葉当たりの残留濃度) における作物残留試験結果を用いてEDI試算をした。

「陸棲哺乳類の肉類」については、EDI試算では、畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用い、摂取量の筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%、20%として試算した。

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値 (案) の数値を用いた。

クロロタロニルの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重)	ESTI/ARFD (%)
米（玄米をいう。）	米	0.05	○ 0.0075	0.0	0
小麦	小麦	0.01	○ 0.01	0.0	0
大麦	大麦	0.01	○ 0.01	0.0	0
	麦茶	0.01	○ 0.01	0.0	0
大豆	大豆	1	○ 0.19	0.2	0
小豆類	いんげん	1	○ 0.19	0.3	0
らっかせい	らっかせい	0.1	○ 0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.3	○ 0.3	2.8	0
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.3	○ 0.3	1.6	0
かんしょ	かんしょ	0.3	○ 0.3	3.8	1
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.3	○ 0.3	2.4	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.3	○ 0.3	3.5	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	だいこんの葉	2	2	16.5	3
かぶ類の根	かぶの根	0.3	○ 0.3	2.2	0
かぶ類の葉	かぶの葉	0.05	0.05	0.1	0
はくさい	はくさい	2	2	25.9	4
キャベツ	キャベツ	2	2	19.1	3
きょうな	きょうな	0.03	0.03	0.1	0
カリフラワー	カリフラワー	5	○ 5	37.1	6
ブロッコリー	ブロッコリー	5	○ 5	30.0	5
その他のあぶらな科野菜	たかな	5	○ 5	39.2	7
	菜花	5	○ 5	13.8	2
ごぼう	ごぼう	0.3	○ 0.3	1.5	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	0.7	0.7	3.9	1
たまねぎ	たまねぎ	2	○ 0.69	5.7	1
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	10	○ 7.5	28.6	5
にんにく	にんにく	0.04	○ 0.022	0.0	0
アスパラガス	アスパラガス	5	5	10.4	2
わけぎ	わけぎ	3	3	5.9	1
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	10	○ 7.5	13.3	2
	らっきょう	10	○ 7.5	8.0	1
にんじん	にんじん	0.4	○ 0.163	0.7	0
	にんじんジュース	0.4	○ 0.113	0.8	0
セロリ	セロリ	20	○ 7.5	41.3	7
みつば	みつば	0.01	0.01	0.0	0
その他のせり科野菜	せり	0.5	0.5	0.8	0
トマト	トマト	9	9	98.5	20
ピーマン	ピーマン	10	○ 4.6	11.7	2
なす	なす	3	○ 1.42	9.2	2
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	7	○ 4.4	7.1	1
	ししとう	7	○ 4.4	4.5	1
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	3	3	19.0	3
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	7	○ 3.625	35.6	6
	ズッキーニ	7	○ 3.625	26.2	4
しろうり	しろうり	2	○ 0.21	1.7	0
すいか（果皮を含む。）	すいか	7	○ 3.625	119.4	20
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	7	○ 3.625	61.6	10
その他のうり科野菜	とうがん	7	○ 3.625	61.7	10
	にがうり	7	○ 3.625	29.3	5
オクラ	オクラ	7	○ 4.4	6.5	1
しょうが	しょうが	0.01	○ 0.005	0.0	0
その他の野菜	ずいき	0.7	0.7	7.1	1
	もやし	0.7	0.7	1.6	0
	れんこん	0.7	0.7	4.4	1
	そら豆（生）	0.7	0.7	2.1	0

クロロタロニルの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重)	ESTI/ARFD (%)
りんご	りんご	2	2	28.6	5
	りんご果汁	2	○ 0.381	4.0	1
日本なし	日本なし	0.2	0.2	3.0	1
西洋なし	西洋なし	2	2	28.1	5
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	15	0.08	1.1	0
すもも（プルーンを含む。）	プルーン	1	1	5.9	1
うめ	うめ	2	○ 1.1	1.5	0
おうとう（チェリーを含む。）	おうとう	3	○ 1.8	4.5	1
いちご	いちご	5	○ 3	11.4	2
ぶどう	ぶどう	3	○ 1.6	21.6	4
かき	かき	2	2	28.6	5
バナナ	バナナ	15	○ 0.71	7.9	1
キウイー（果皮を含む。）	キウイー	50	50	283.2	50
その他の果実	いちじく	1	○ 0.6	4.6	1
茶	緑茶類	10	○ 0.0534	0.0	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

もも（果皮及び種子を含む。）については、果肉における作物残留試験成績の数値を用いてESTI試算をした。

にんにく、にんじん、かき及び茶については、プロポーションナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

茶については、浸出液（茶葉当たりの残留濃度）における作物残留試験結果を用いて試算をした。

クロロタロニルの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重)	ESTI/ARFD (%)
米（玄米をいう。）	米	0.05	○ 0.0075	0.1	0
小麦	小麦	0.01	○ 0.01	0.0	0
大麦	大麦	0.01	○ 0.01	0.0	0
	麦茶	0.01	○ 0.01	0.0	0
大豆	大豆	1	○ 0.19	0.2	0
らっかせい	らっかせい	0.1	○ 0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.3	○ 0.3	6.8	1
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.3	○ 0.3	3.8	1
かんしょ	かんしょ	0.3	○ 0.3	7.6	1
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.3	○ 0.3	4.1	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.3	○ 0.3	6.6	1
はくさい	はくさい	2	2	31.4	5
キャベツ	キャベツ	2	2	31.3	5
ブロッコリー	ブロッコリー	5	○ 5	72.0	10
ごぼう	ごぼう	0.3	○ 0.3	1.9	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	0.7	0.7	6.9	1
たまねぎ	たまねぎ	2	○ 0.69	12.1	2
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	10	○ 7.5	48.6	8
にんにく	にんにく	0.04	○ 0.022	0.0	0
にんじん	にんじん	0.4	○ 0.163	1.7	0
トマト	トマト	9	9	244.5	40
ピーマン	ピーマン	10	○ 4.6	30.1	5
なす	なす	3	○ 1.42	22.2	4
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	3	3	43.8	7
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	7	○ 3.625	58.1	10
すいか（果皮を含む。）	すいか	7	○ 3.625	313.8	50
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	7	○ 3.625	106.2	20
オクラ	オクラ	7	○ 4.4	19.0	3
しょうが	しょうが	0.01	○ 0.005	0.0	0
その他の野菜	もやし	0.7	0.7	2.9	0
	れんこん	0.7	0.7	7.2	1
りんご	りんご	2	2	64.2	10
	りんご果汁	2	○ 0.381	12.9	2
日本なし	日本なし	0.2	0.2	5.8	1
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	15	0.08	3.4	1
うめ	うめ	2	○ 1.1	3.8	1
いちご	いちご	5	○ 3	32.4	5
ぶどう	ぶどう	3	○ 1.6	49.0	8
かき	かき	2	2	41.8	7
バナナ	バナナ	15	○ 0.71	27.3	5
茶	緑茶類	10	○ 0.0534	0.1	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.1	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

もも（果皮及び種子を含む。）については、果肉における作物残留試験成績の数値を用いてESTI試算をした。

にんにく、にんじん、かき及び茶については、プロポーショナルリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

茶については、浸出液（茶葉当たりの残留濃度）における作物残留試験結果を用いて試算をした。

代謝物Iの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重)	ESTI/ARFD (%)
米（玄米をいう。）	米	0.05	○ 0.0075	0.0	0
小麦	小麦	0.01	○ 0.01	0.0	0
大麦	大麦	0.01	○ 0.01	0.0	0
	麦茶	0.01	○ 0.01	0.0	0
大豆	大豆	1	○ 0.02	0.0	0
小豆類	いんげん	1	○ 0.02	0.0	0
らっかせい	らっかせい	0.1	○ 0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.3	○ 0.03	0.3	1
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.3	○ 0.03	0.2	1
かんしょ	かんしょ	0.3	○ 0.03	0.4	2
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.3	○ 0.03	0.2	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.3	○ 0.03	0.3	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	だいこんの葉	2	0.3	2.5	10
かぶ類の根	かぶの根	0.3	○ 0.03	0.2	1
かぶ類の葉	かぶの葉	0.05	0.01	0.0	0
はくさい	はくさい	2	0.05	0.6	2
キャベツ	キャベツ	2	0.05	0.5	2
きょうな	きょうな	0.03	0.01	0.0	0
カリフラワー	カリフラワー	5	○ 0.02	0.1	0
ブロッコリー	ブロッコリー	5	○ 0.02	0.1	0
その他のあぶらな科野菜	たかな	5	○ 0.02	0.2	1
	菜花	5	○ 0.02	0.1	0
ごぼう	ごぼう	0.3	○ 0.03	0.1	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	0.7	0.01	0.1	0
たまねぎ	たまねぎ	2	○ 0.068	0.6	2
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	10	○ 0.05	0.2	1
にんにく	にんにく	0.04	○ 0.0006	0.0	0
アスパラガス	アスパラガス	5	0.05	0.1	0
わけぎ	わけぎ	3	0.2	0.4	2
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	10	○ 0.05	0.1	0
	らっきょう	10	○ 0.05	0.1	0
にんじん	にんじん	0.4	○ 0.011	0.0	0
	にんじんジュース	0.4	○ 0.008	0.1	0
セロリ	セロリ	20	○ 0.02	0.1	0
みつば	みつば	0.01	0.01	0.0	0
その他のせり科野菜	せり	0.5	0.05	0.1	0
トマト	トマト	9	0.08	0.9	4
ピーマン	ピーマン	10	○ 0.077	0.2	1
なす	なす	3	○ 0.0117	0.1	0
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	7	○ 0.09	0.1	0
	ししとう	7	○ 0.09	0.1	0
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	3	0.1	0.6	2
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	7	○ 0.084	0.8	3
	ズッキーニ	7	○ 0.084	0.6	2
しろうり	しろうり	2	○ 0.06	0.5	2
すいか（果皮を含む。）	すいか	7	○ 0.084	2.8	10
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	7	○ 0.084	1.4	6
その他のうり科野菜	とうがん	7	○ 0.084	1.4	6
	にがうり	7	○ 0.084	0.7	3
オクラ	オクラ	7	○ 0.09	0.1	0
しょうが	しょうが	0.01	○ 0.0003	0.0	0
その他の野菜	ずいき	0.7	0.1	1.0	4
	もやし	0.7	0.1	0.2	1
	れんこん	0.7	0.1	0.6	2
	そら豆（生）	0.7	0.1	0.3	1

代謝物Iの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg体重)	ESTI/ARFD (%)
りんご	りんご	2	0.05	0.7	3
	りんご果汁	2	○ 0.01	0.1	0
日本なし	日本なし	0.2	0.05	0.8	3
西洋なし	西洋なし	2	0.05	0.7	3
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	15	0.01	0.1	0
すもも（プルーンを含む。）	プルーン	1	0.01	0.1	0
うめ	うめ	2	○ 0.011	0.0	0
おうとう（チェリーを含む。）	おうとう	3	○ 0.035	0.1	0
いちご	いちご	5	○ 0.06	0.2	1
ぶどう	ぶどう	3	○ 0.15	2.0	8
かき	かき	2	0.01	0.1	0
バナナ	バナナ	15	○ 0.01	0.1	0
キウイー（果皮を含む。）	キウイー	50	0.7	4.0	20
その他の果実	いちじく	1	○ 0.01	0.1	0
茶	緑茶類	10	○ 0.0096	0.0	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

もも（果皮及び種子を含む。）については、果肉における作物残留試験成績の数値を用いてESTI試算をした。

にんにく、にんじん、かき及び茶については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

茶については、浸出液（茶葉当たりの残留濃度）における作物残留試験結果を用いて試算をした。

代謝物Iの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重)	ESTI/ARFD (%)
米（玄米をいう。）	米	0.05	○ 0.0075	0.1	0
小麦	小麦	0.01	○ 0.01	0.0	0
大麦	大麦	0.01	○ 0.01	0.0	0
	麦茶	0.01	○ 0.01	0.0	0
大豆	大豆	1	○ 0.02	0.0	0
らっかせい	らっかせい	0.1	○ 0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.3	○ 0.03	0.7	3
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.3	○ 0.03	0.4	2
かんしょ	かんしょ	0.3	○ 0.03	0.8	3
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.3	○ 0.03	0.4	2
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.3	○ 0.03	0.7	3
はくさい	はくさい	2	0.05	0.8	3
キャベツ	キャベツ	2	0.05	0.8	3
ブロッコリー	ブロッコリー	5	○ 0.02	0.3	1
ごぼう	ごぼう	0.3	○ 0.03	0.2	1
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	0.7	0.01	0.1	0
たまねぎ	たまねぎ	2	○ 0.068	1.2	5
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	10	○ 0.05	0.3	1
にんにく	にんにく	0.04	○ 0.0006	0.0	0
にんじん	にんじん	0.4	○ 0.011	0.1	0
トマト	トマト	9	0.08	2.2	9
ピーマン	ピーマン	10	○ 0.077	0.5	2
なす	なす	3	○ 0.0117	0.2	1
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	3	0.1	1.5	6
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	7	○ 0.084	1.3	5
すいか（果皮を含む。）	すいか	7	○ 0.084	7.3	30
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	7	○ 0.084	2.5	10
オクラ	オクラ	7	○ 0.09	0.4	2
しょうが	しょうが	0.01	○ 0.0003	0.0	0
その他の野菜	もやし	0.7	0.1	0.4	2
	れんこん	0.7	0.1	1.0	4
りんご	りんご	2	0.05	1.6	6
	りんご果汁	2	○ 0.01	0.3	1
日本なし	日本なし	0.2	0.05	1.4	6
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	15	0.01	0.4	2
うめ	うめ	2	○ 0.011	0.0	0
いちご	いちご	5	○ 0.06	0.6	2
ぶどう	ぶどう	3	○ 0.15	4.6	20
かき	かき	2	0.01	0.2	1
バナナ	バナナ	15	○ 0.01	0.4	2
茶	緑茶類	10	○ 0.0096	0.0	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.1	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

もも（果皮及び種子を含む。）については、果肉における作物残留試験成績の数値を用いてESTI試算をした。

にんにく、にんじん、かき及び茶については、プロポーショナルリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

茶については、浸出液（茶葉当たりの残留濃度）における作物残留試験結果を用いて試算をした。

(参考)

これまでの経緯

昭和40年	5月23日	初回農薬登録
平成17年	11月29日	残留基準告示
平成23年	9月21日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成29年	7月21日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成30年	3月27日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成30年	7月11日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
平成30年	7月12日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和2年	10月29日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：まくわうり）
令和4年	5月17日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：アスパラガス）
令和6年	9月3日	農林水産省から消費者庁へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：ネクタリン）
令和8年	4月1日	農林水産省から消費者庁へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：トマト、ミニトマト、ピーマン、うり類（成熟、ただし、すいか、まくわうりを除く）、すいか）
令和8年	5月19日	食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

● 食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

- | | | |
|-----|-----|---------------------------|
| 大山 | 和俊 | 一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長 |
| ○折戸 | 謙介 | 学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部教授 |
| 加藤 | くみ子 | 国立医薬品食品衛生研究所薬品部長 |
| 近藤 | 麻子 | 日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部本部長 |
| 須恵 | 雅之 | 東京農業大学応用生物科学部教授 |
| 瀧本 | 秀美 | 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事 |
| 田口 | 貴章 | 国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長 |
| ◎堤 | 智昭 | 国立医薬品食品衛生研究所食品部長 |
| 中島 | 美紀 | 金沢大学ナノ生命科学研究所（薬学系兼任）教授 |
| 野田 | 隆志 | 一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問 |

(◎：部会長、○：部会長代理)

答申（案）

クロロタロニルについては、以下のとおり食品中の農薬の残留基準を設定することが適当である。

クロロタロニル

今回残留基準を設定する「クロロタロニル」の規制対象は、農産物及びはちみつにあつてはクロロタロニル、畜産物にあつては代謝物 I 【2,5,6-トリクロロ-4-ヒドロキシイソフタロニトリル】とする。

食品名	残留基準値 ppm
米（玄米をいう。）	0.05
小麦	0.01
大麦	0.01
ライ麦	0.01
その他の穀類 ^{注1)}	0.01
大豆	1
小豆類 ^{注2)}	1
えんどう	1
そら豆	1
らっかせい	0.1
その他の豆類 ^{注3)}	1
ばれいしょ	0.3
さといも類（やつがしらを含む。）	0.3
かんしょ	0.3
やまいも（長いもをいう。）	0.3
こんにやくいも	0.3
その他のいも類 ^{注4)}	0.3
てんさい	0.3
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.3
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	2
かぶ類の根	0.3
かぶ類の葉	0.05
西洋わさび	1
はくさい	2
キャベツ	2
芽キャベツ	6
きょうな	0.03
カリフラワー	5

食品名	残留基準値 ppm
ブロッコリー	5
その他のあぶらな科野菜 ^{注5)}	5
ごぼう	0.3
サルシフィー	0.3
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	0.7
その他のきく科野菜 ^{注6)}	1
たまねぎ	2
ねぎ (リーキを含む。)	10
にんにく	0.04
アスパラガス	5
わけぎ	3
その他のゆり科野菜 ^{注7)}	10
にんじん	0.4
セロリ	20
みつば	0.01
その他のせり科野菜 ^{注8)}	0.5
トマト	9
ピーマン	10
なす	3
その他のなす科野菜 ^{注9)}	7
きゅうり (ガーキンを含む。)	3
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	7
しろうり	2
すいか (果皮を含む。)	7
メロン類果実 (果皮を含む。)	7
まくわうり (果皮を含む。)	2
その他のうり科野菜 ^{注10)}	7
オクラ	7
しょうが	0.01
その他の野菜 ^{注11)}	0.7
りんご	2
日本なし	0.2
西洋なし	2
マルメロ	0.5

食品名	残留基準値 ppm
もも（果皮及び種子を含む。）	15
ネクタリン	15
あんず（アプリコットを含む。）	2
すもも（プルーンを含む。）	1
うめ	2
おうとう（チェリーを含む。）	3
いちご	5
クランベリー	15
その他のベリー類果実 ^{注12)}	20
ぶどう	3
かき	2
バナナ	15
キウイー（果皮を含む。）	50
パパイヤ	20
パッションフルーツ	2
その他の果実 ^{注13)}	1
その他のナッツ類 ^{注14)}	0.3
茶	10
その他のスパイス ^{注15)}	0.3
その他のハーブ ^{注16)}	7
牛の筋肉	0.02
豚の筋肉	0.02
その他の陸棲哺乳類に属する動物 ^{注17)} の筋肉	0.02
牛の脂肪	0.07
豚の脂肪	0.07
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.07
牛の肝臓	0.2
豚の肝臓	0.2
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.2
牛の腎臓	0.2
豚の腎臓	0.2
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.2
牛の食用部分 ^{注18)}	0.2
豚の食用部分	0.2
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.2
乳	0.07

食品名	残留基準値 ppm
鶏の筋肉 その他の家きん ^{注19)} の筋肉	0.01 0.01
鶏の脂肪 その他の家きんの脂肪	0.01 0.01
鶏の肝臓 その他の家きんの肝臓	0.07 0.07
鶏の腎臓 その他の家きんの腎臓	0.07 0.07
鶏の食用部分 その他の家きんの食用部分	0.07 0.07
はちみつ	0.05

注1) 「その他の穀類」とは、穀類のうち、米（玄米をいう。）、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。

注2) 「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。

注3) 「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。

注4) 「その他のいも類」とは、いも類のうち、ばれいしょ、さといも類（やつがしらを含む。）、かんしょ、やまいも（長いもをいう。）及びこんにゃくいも以外のものをいう。

注5) 「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注6) 「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちししゃを含む。）及びハーブ以外のものをいう。

注7) 「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注8) 「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注9) 「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注10) 「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注11) 「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注12) 「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。

注13) 「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）、すもも（プルーンを含む。）、うめ、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイー、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注14) 「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。

注15) 「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注16) 「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

注17) 「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注18) 「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注19) 「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。